

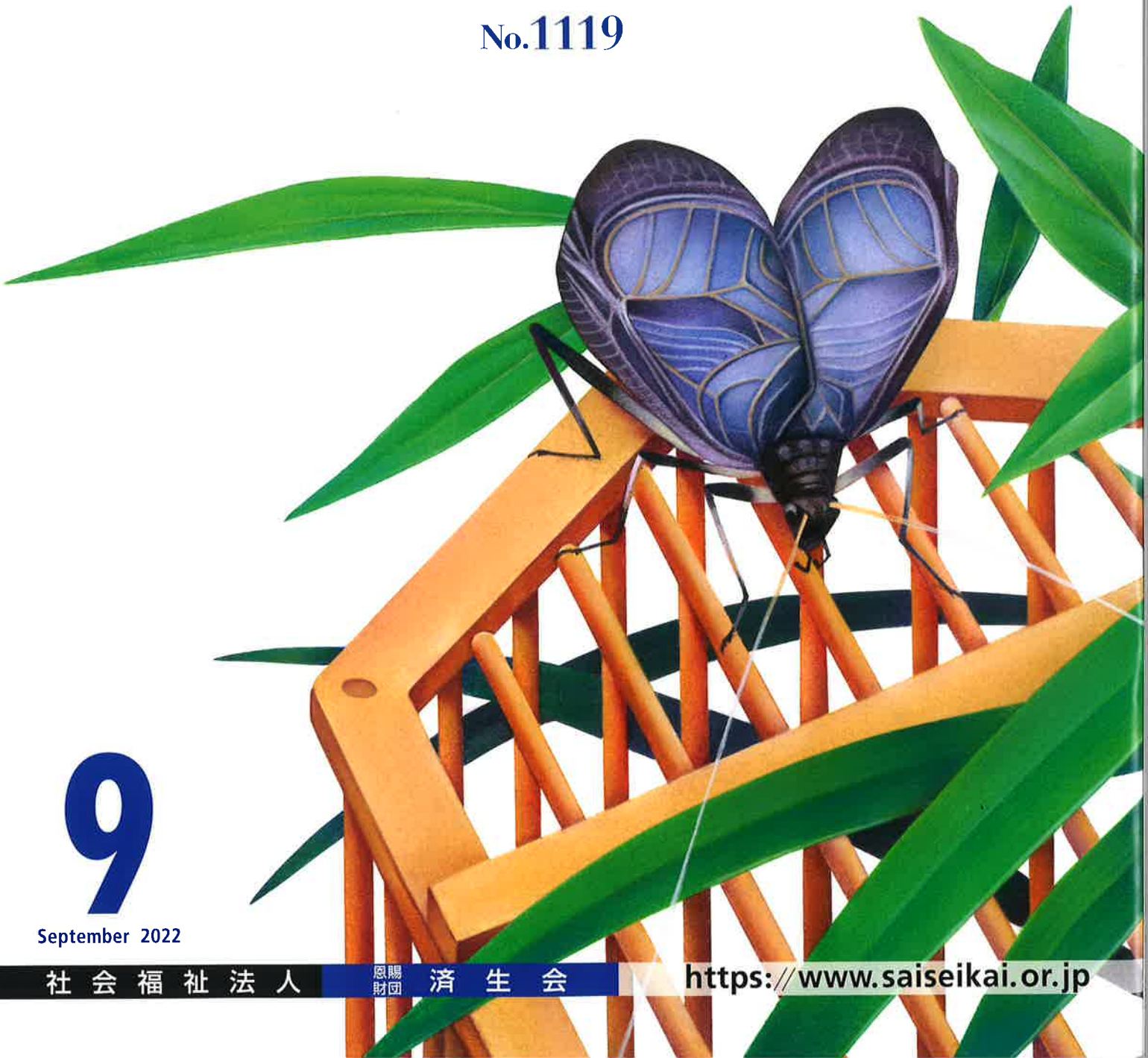
濟生

SAISEI

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1119

「濟生会交差点」
慢性期轉換後、再び急性期へ
臨床工学士の新たな挑戦



9

September 2022

社会福祉法人

恩賜財団

濟生会

<https://www.saiseikai.or.jp>

濟生会の 不易流行論

168

理事長 炭谷 茂
Shigeru Sumitani



信頼は、毎日の積み重ねから

仕 事は、信頼関係が構築されていけば、スムーズにいくものだ。私が旧厚生省社会・援護局長に在職していた時は、T課長に全幅の信頼を置いていた。

先の大戦で犠牲となった人に対する支援や慰霊等を行なう援護業務は、局長の仕事の中で大きな比重を占めた。この仕事は、局長に就任して初めて経験する

仕事だったが、関係者や外国政府との機微にわたる調整があり、経緯や背景に精通していないと、思わぬところで落とし穴に落ちる危険があった。

T課長は、ノンキャリアで旧満州からの引揚者だった。この経歴が影響したのだろうか、援護の仕事には魂が込められていた。困難な仕事からも逃げず、精力的な仕事ぶりには定評

があった。

当時の援護行政には懸案の宿題が山積していたうえ、次々に難題が発生した。私は、問題が難しければ難しいほど挑戦することを信条としていたが、局長ひとりではできないはずがない。T課長は、いつも嫌な顔一つ見せず、想定以上の成果を挙げてくれた。

北朝鮮からの日本人妻里帰りの仕事もその一つだった。内閣の重要な政治課題だったが、所管官庁が明確でなかった。官邸から懇請され、私の判断で引き受けた。経験もなければ、予算も人手もなかったため、職員が嫌がるのではと心配したが、T課長は、重要な仕事だとして率先して動き、無事任務を完了できた。私のT課長への信頼は、一層高まったの言うまでもない。

7月上旬、山口刑務所で受刑者に対して介護職員初任者研修の講義を行なった。これは済生会山口地域ケアセンターが平成27年度から始めたものだが、受刑者に介護の資格を取得してもらい、出所後の社会復帰に役立つためである。

私は、当初から毎年1回、担当している。受講生は山口刑務所だけでなく全国の刑務所から集まる。最近では新型コロナウイルスの影響で8人程度と少ないが、新型コロナウイルス前は20人程度と多かった。当初から受講生は、熱心だった。長い間、大学で講義を担当してきたが、大学生よりも学習意欲は高いと教室の空気が分かる。是が非でも社会復帰したいという意欲の表れである。

この事業を始めて8年、矯正行政の関係者には広く知られるようになった。今年も私の講義の際は広島矯正管区の吉弘基成第二部長が傍聴してくれた。このほか各地の済生会病院では更生保護施設への支援など、刑務所出所者支援を幅広く実施していることは、済生会に対する信頼を高めている。

信頼は、長年の行動の積み重ねによって築かれる。済生会は、新型コロナウイルスに対する積極的な対応、なでしこプランやソーシャルインクルージョン推進計画の活動等により住民や自治体の信頼は、大変高まってきたが、これが今では済生会にとって大きな力となっている。

人事給与システムが変われば、どうなる。



日立システムズはニッセイコム社製人事給与システムをご提案致します。

<p>GrowOne 人事SX GrowOne 給与SX</p>	<p>特長1 給与計算時のExcel管理を削減! 各種手当や退職金の計算をシステム内で完結することで、給与計算にかかる時間数や計算ミスリスクを削減できます。</p>	<p>特長2 人事情報からの自動計算! 家族情報から扶養手当や年末調整を自動計算し、介護保険等の年齢による控除や手当も自動化できます。</p>	<p>特長3 様々な支給形態に対応! 正職員、非常勤職員や日給・時給など様々な雇用契約に応じた支給形態に対応し、職員情報から自動判定できます。</p>
----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

株式会社 日立システムズ

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー
福社の森担当：富士
フリーダイヤル：0120-055-294

Human * IT

済生

SAISEI

CONTENTS
SEPTEMBER, 2022

NEWSな済生人
住民パワーで誕生！日田病院が目指すもの
〈大分〉日田病院 院長

林田良三さん 06

済生会交差点

《地域密着の救急医療》慢性期転換後、再び急性期へ。原点に立ち返り高齢者救急を担う／《臨床工学技師の新たな挑戦》CE2人で保守点検・管理を徹底。検査・治療をもっと安全・効率的に／《外国人にやさしい病院》やさしい日本語や多言語で。誰でも安心な病院づくり進行中／《精神障がい者の拠り所》精神障がい者を支え22年。暮らしやすいまちをつくる



がんばろう！ 済生会	〈岩手〉北上済生会病院	18
巻頭コラム 済生会の不易流行論	信頼は、毎日の積み重ねから 理事長 炭谷 茂	03
9月のたよりが聞こえる	—— 鈴虫 表紙のことば 久保田真由美	05
ソーシャルインクルージョン		21
第20回全国済生会在宅サービス協議会		24
この人 生瀬勝久		26
口福につぼん	吉井省一	28
だれでもかんたん てづくりおもちゃ	いまいみさ	30
TOPICS		32
載々、大雑報		62

題字協力：石飛博光
アートディレクション：OVO INTERNATIONAL

9月のたよりが聞こえる 鈴虫

源 氏物語54帖のうち、第38帖の巻名は「鈴虫」である。光源氏の2番目の正妻・女三宮が男児・薫を産んだ後、突然、仏門に入る。薫は源氏の友人の息子との不義の子で、源氏も知っている。そのことに耐え切れなくなったの出家だった。

尼になって元夫とはもう会いたくもないのに、逆にな源氏は未練たっぷり。八月十五夜にやってきて集く虫の声の中でお経をあげ、虫の中では松虫が優れているのだ、鈴虫がいたのだと、うだうだ。元妻もしょうがないので相槌を打っていると、源氏は琴を弾き始めた。

琴の音にあわれを感じながら二人、月を眺めていると、源氏に冷泉院からお呼びがかかった。この冷泉院、外向きには源氏の異母弟だが、実は源氏が昔、父の後妻・藤壺とい仲になってできた不義の子。冷泉院もそのことを知っていて実の父と親しく話したかったのだ。この父子対面の場は絵巻になつていて、今ではほとんど見かけなくなつた2千円札の裏面に掲載されている。



因果応報の38帖。人の業をあざけるように松虫や鈴虫の澄んだ声がバツクに流れている。が、なんと、松虫と鈴虫は今とは逆だったのだそう。

唱歌「虫のこえ」には、
♪あれ松虫が、鳴いている
ちんちろ、ちんちろ、ちんちろりん
あれ鈴虫も鳴き出した
りんりんりんりん、りんりん
とあるが、平安時代は松虫が「りんりん」で、鈴虫が「ちんちろりん」だったことになる。ウェブサイト「世界の民謡・童謡」に根拠として相山女学園大学の武山隆昭名誉教授の論考が紹介されている。

表紙のことば 秋の夜は愛に満ちています

表紙イラスト 久保田真由美 Mayumi Kubota

夏から秋にかけて昆虫は音楽を奏で続けます。昼間空気を振るわせるほど鳴いていたセミから鈴虫、コオロギなどにバトンが渡されると秋を感じ気持ちも穏やかになります。ほとんどの昆虫が飛ぶための羽を持っているのに、鈴虫の羽は楽器でしかありません。そして奏でられる音楽はほとんどが愛の歌です。秋の夜は愛に満ちていて、人の心も優しくしてくれるのかもしれない。

住民パワーで誕生！ 大分・日田病院が目指すもの

済生会日田病院は1990年10月、大分県の二次医療圏で唯一、公的病院がなかった西部医療圏に20年の歳月を経て開院しました。それは「地域の中核を担う病院の設置を！」と望む住民の声に応えたものです。済生会は医療・福祉を通じて誰一人取り残さない社会を目指し、今年

7月、拠点のない7県（青森・秋田・山梨・岐阜・徳島・高知・沖縄）にも支部・施設を開設しようとする、来年度から10年の長期事業方針をまとめました。日田病院院長の林田良三さんに地域に求められる病院のあるべき姿を伺いました。（日田病院 済生記者 石井 玲）



徳川幕府の直轄地・天領として栄えた豆田町



巡回診療には研修医も参加

石井 私は今年度、済生記者に委嘱されました。改めて日田病院を調べていたら、当院は住民の要望で開院したことを知りました。

林田 日田玖珠広域市町村圏の振興計画で公的病院の設置を計画したのが1970年、そして、当院がオープンしたのはそれから20年後の90年です。

石井 開設まで20年も？

林田 済生会、地元医師会、日田市との

協議が続く中で、85年12月に3000人を超える市民による済生会病院の早期実現を期待する決起集会が市民会館で開かれました。救急や小児医療を担う病院の開設を期待し、青年会議所や婦人会など住民パワーが源となって、当院が開院しました。

石井 そんなことがあったのですね。それだけに地域との関わりは重要ですね。

林田 その通りです。開設までの20年は、紆余曲折がありました。地域医療構想などが進む昨今、地元医師会とは機能・役割をすみ分け、情報を共有して連携し、共に地域医療を守ろうと一致しています。

石井 市民との関係づくりはどうですか？

林田 当院の役割を知ってもらおうと「なでしこ」という住民向け広報誌を作成し、院内や、へき地巡回診療の際に配布しています。コロナと地域医療、SDGsと済生会など紹介してきましたが、もっと地域住民の方々に当院を知っていただくよう

ニューラルを予定しています。ほかにも毎年市民公開講座でがん診療や在宅医療を一緒に考えたり、市民健康福祉まつりに看護師・臨床検査技師・医療相談員などを派遣し、健康相談や健診を行なっています。

石井 商工会議所にも働きかけていますね。

林田 当院は地域がん診療拠点病院なので、働きながらがん治療を続ける患者さんのことを理解、支援していただけるよう商工会議所で講演しました。最近では市議会議員や記者クラブに、医師の働き方改革の目的や概要、地域医療への影響の話をしました。

石井 記者クラブですか？

林田 記者のみなさんに話をして、記事にしてもらおうと、住民に医師の働き方改革を知っていただくだけです。住民の理解と同意が医師の働き方改革達成のためには大切だと考えています。また、がんや人生の最期をどう過ごすか考えるアドバンス・ケア・プランニングの市民公開講座を開催、地元ケーブルテレビで放映してもらいました。

石井 林田先生も出演していましたね。

林田 はい。市長や医師会会長と出演しました。市民と地域のための病院ですから、院長がどんな考えを持っているのか、日田病院はどんな病院なのかを、テレビを通じて広く知ってもらおうのも大切です。

住民の命だけでなく暮らしを守る

石井 林田先生が考える当院の特徴は？

林田 地域に不足する医療機能を積極的

〈大分〉日田病院 院長

林田良三さん

地域に必要な情報は院内外に開示する!!

に、幅広く補填してきました。ここでは公的病院は当院だけですから、へき地医療拠点病院も災害拠点病院も地域医療支援病院も地域がん診療連携拠点病院も第二種感染症指定医療機関も一手に引き受けています。

石井 刑余者の支援もしていますね。

林田 県から受託している大分県地域生活定着支援センターで、高齢や障害のある刑余者に福祉的なサポートをしています。更生保護施設あけぼの寮へも、当院から社会福祉施設指導員2人を常駐で派遣していますが、これは更生保護施設と済生会の双方において全国唯一の取り組みです。いずれも大分市内での活動です。

石井 あけぼの寮ではなにを？

林田 寮で暮らす人は、高齢や病気などで健康不安を抱える人が少なくありません。まずは健康保険証の取得をサポートします。保険証があれば医療が受けられ、身分証明書にもなります。これを手掛かりに、社会復帰を後押しします。これまでに約3000人を支援してきました。地域生活定着支援センターも、当初の5人から現在は8人体制に強化、刑務所に入る前から関わり始める「人口支援」を強化しています。

石井 医療も福祉も、日田でも大分市でも本場にいろんな役割を担っているのですか？

林田 この規模の病院としては身の丈以上のことをやっていると自負しています。しかし、医師も病院の運営資金も不足しています。非常勤医師の活用でかろうじて機能を維持していますが、なんとか踏ん張って

※新型コロナウイルス感染防止のため、当分の間、インタビュアーは当該施設の済生記者が務めます。また、写真撮影時のみマスクを外しています

救急・災害対応・がん診療・
へき地診療・そして福祉も。
地域に不可欠な役割を広く担う

NEWSな済生人 Interview



災害医療の強化を図る訓練。関係機関との連携は欠かせない



インタビュアーの石井さん(左)と林田院長

【取材を終えて】
林田院長は職員に対し、院内広報誌等やグループウェアを通じて、当院の現状や院長の思いをわかりやすくスピーディーに伝えてくれます。当院が地域の中核病院として、これからも住民の期待に応えるために、私も職員の一員として努力していこうと思えた取材でした。
(石井 玲)

林田 地域に潜在している貧困や格差問題を考えると子ども食堂や独居高齢者の支援など、日田でも社会福祉事業ができたらいなと思っっています。住民・行政・団体・企業、そして日田病院の職員のみなさんの理解・共感を得ながら、地域の思いに応えられる病院であり続けたいです。

石井 私たちも頑張りがいがあります。林田 職員と触れ合ったり、ヒントやアイデアをもらえます。訪問看護師や相談員は、まちに出ていろんな人と交流し、情報を持ち帰ってくる。それは「地域のためにどうすればいいのか」を教えてください。宝物です。地域の団体や企業などと顔見知りの関係をさらに広げて、住民パワーを生かしたまちづくりに貢献できたらと考えています。

石井 何か良い方法はないのでしょうか。林田 補助金をいただける事業もありますが、それだけではとてもカバーしきれません。お金がないからやめずとは言えないので、公的資金の投入や外部の協力も不可欠です。そこで当院の公益性に理解をいただいている医師会長や地元の私立学校理事長に、日田市長への公的病院等に対する特別交付税措置の陳情に同行してもらおうなど、共同歩調で取り組んでいます。また、7月には日田市議会議員と当院の経営状況や今後の福祉活動についての意見交換会を行ない、当院への公的資金導入の妥当性について理解を得ました。

石井 味方がいるのは心強いですね。
林田 そうですね。また、地域の先生方との連携を強化するために「D-LINK」というインターネット上のデータリンクサービスを活用し、当院の診療情報をオープンにしています。現在は一方通行のシステムですが、ゆくゆくは、地域の医療機関同士で診療情報を共有できる形にしていければと考えています。

職員一丸の第一歩は情報開示
石井 地域の期待に応え、こ



「公的病院を建ててほしい」。1990年8月、20年にわたり住民が切望した日田病院は竣工しました。筆者は1988年8月、大分支部の常務理事に就いて、その2年後に初代院長に就任しました。

日田病院は1990年10月、職員111人・8診療科・200床の共同利型病院として開院。救急告示病院へき地中核病院の指定を受け、筆者

日田病院初代院長 小金丸道彦さん
新病院の始動、大事なのは
地元との信頼関係

地元の方からは「ぬしはどきもんか？」「あくよそもんか」と言われたこともありましたが、信頼関係を築くと情が深い。地元企業の社長、住職、婦人会など異業種との付き合いは2002年の院長退任までお世話になりました。

日田病院は地域に育ててもらった病院です。職員一人ひとりがこれからの地域に溶け込んで愛される済生会であってほしいと願っております。

(現・福岡・介護老人保健施設 大牟田ライフケア院 施設長)

は無医地区を回る巡回診療所長としても活動しました。外来を終え食事を流し込み、看護師・事務員と午後1時に日田病院を出発。よく居眠りするドライバーに代わり自分が運転したこともあり。出発時間間に合わなかった時はバイクに乗って追いかけますが、途中、子牛ほどのイノシシが突然道を横切することもありました。帰路、職員と味わったわさびソフクリームは忘れられません。

救急病院に必須の診療科を誘致する際、大学医局や地元医師会との交渉は院長である筆者に任ざられていました。日田は盆地です。夏は酷暑で冬は極寒。雪がちらつく中、夜遅くまで交渉しました。



健康相談は病院と住民をつなぐ大切な架け橋

れだけ幅広い役割を担い続けられる秘けつは？

林田 石井さんはどう思いますか？
石井 ええと……林田先生は私たち職員に一体感を大事にしていますよね。

林田 そうですね。組織の土台は職員で、多くの職種が働く病院では、特にチームワークが大切です。そこで院長就任後に創刊した、季刊の院内報「TEAM済生」やグループウェアを通じ、全職員に病院の現状と方向性、理念や役割などを繰り返し発信してきました。済生会の役割として生活困窮者を支援する、公的病院として地域社会に貢献する、社会福祉法人として刑余者支援などを行なう……と。

石井 経営状況のデータも交えた具体的な院長メッセージは、わかりやすいです。
林田 そこが大切です。経営実態も何もかも、包み隠さず見せて理解してもらおう。私たちの現在地点はここで、日田病院の役割はこうということ、それを果たすためここに向かっているというメッセージ。みな同じ方向に向かっているというメッセージです。

石井 新しい取り組みを始める際、林田先生は現場でも説明してくれますよね。
林田 高齢化への対応で病床機能を細分化し、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟などを順次整備してきました。「なぜ、いまこうするのか」を担当部署に向いて説明します。いままも訪問診療・訪問看護などの在宅部門を充実させるために委員会を立ち上げ、ステーション化できないか検討中です。

石井 林田先生はフットワークが軽いです。
林田 いつでも動けるように、足元はいつもスニーカーですよ(笑)。それでも病院を動かす原動力は職員一人ひとりのパワーなので、とにかくみなさんにしっかりと向き合うことを重視しています。

石井 はい。
林田 そして地域の期待に応えるためには、職員がいきいきと働ける病院づくりが大切です。アンケートで職員満足度を把握し改善につなげていて、職員の頑張りをしっかりと評価する人事考課制度の見直しも進行中です。



救急隊から患者さんの情報を引き継ぐ



フィジカルアセスメントする明石卓救急科部長と看護師



救急搬送された患者さんと家族に、病状を説明する明石部長

救急再開後、「また救急を始めたんだね。交通事故にあって神奈川県病院に助けてもらったんだよ」「昔、何度も夜中に子どもを診てもらったな」と患者さんから聞くこと



救急科は診察ベッドが2床、観察ベッドが3床

済生会 交差点

SAISEIKAI JUNCTION

済生会にはたくさんの道があります。道はどこかの交差点で交わり、離れていきます。そして経路は異なっても目的地はみんな同じ。「笑顔」です。

上がりで増加中。21年度は前年度比1.23倍の1,396台で、70歳以上の高齢者が56.6%（70

〜79歳19.8%、80歳以上36.9%）を占めました。今年度も月平均131台、年間1600台ペースで受け入れています。この実績と地域医療への貢献が評価され、今年1月、横浜市神奈川消防署から感謝状をいただきました。



人員・設備の充実が課題

救急科は診察ベッド2床と観察ベッド3床で、医師以外のスタッフは救急救命士1人・看護師2人の体制。他科の医師・看護師が随時応援に来ますが、これ以上の受け入れは困難です。一方、当地域は45年まで、当院救急の主要対象75歳以上の人口増加が見込まれています。救急搬送数が右肩上がりの中でこの



患者の命を救うため、救急隊と力を合わせる

慢性期転換後、再び急性期へ 原点に立ち返り高齢者救急を担う

地域密着の救急医療

神奈川県病院 経営企画課 小山友輝



神奈川県病院は1913（大正2）年に開設した、済生会の第一号病院です。地域密着の公的病院として来年110周年を控える中で、二度の転換がありました。一度目は横浜市東部病院が開院した2007年。当院は急性期機能の大部分を同院へ移し、回復期リハビリなど重急性期・慢性期医療中心へ転換。しかし、両院とも常に満床状態が続き、救急患者の受け入れ困難という課題を抱えました。そんな折、東神奈川リハビリテーション病院の開院計画が浮上。当院は、地域外へ流出していた救急患者を受け入れるため、回復期リハビリ機能を同院へ譲り、再び急性期病院へ戻ると決めました。16年10月、閉鎖していた救急室を9年ぶりに開け、救急車や緊急入院の受け入れを再開。18年2月の東神奈川リハ

ビリテーション病院開院後は、一般病床・地域包括ケア病床・緩和ケア病床を備える地域密着型急性期病院となりました。



救急再開に際しては、担当の医師・看護師・事務職員が消防署を訪問。当院の機能や応需できる疾患をまとめたパンフレットを渡して説明しました。救急

救急再開の際には「総合診療部外科/救急科」と、両科を一体で組織していることです。計5人の医師が力を合わせ、複数疾患が併存する患者さんへ総合的で適切な救急診療を提供し、臓器別の救急診療では対応困難なケースも一手にカバーしています。

救急車の受け入れ台数は右肩

隊には「受け入れ可能な疾患がよく分かり搬送先の選択がやりやすくなった」と好評です。当院が担う救急症例は、昨今増加の著しい高齢者の軽・中等症が中心。例えば肺炎・脱水・尿路感染症などの内科系疾患や、胸腰椎圧迫骨折・転倒骨折などの外傷疾患などで、重症患者さんは高度急性期機能を有する東部病院へ転送しています。神奈川県済生会の3病院

臨床工学技士の新たな挑戦

〈神奈川〉
若草病院
主任臨床工学技士
太原孝代

CE2人で保守点検・管理を徹底 検査・治療をもっと 安全・効率的に

が増えました。当院の原点は救急にあると、こうした

声を聞かたび改めて実感しています。救急医療を担う意義を全

職員で共有し、地元救急隊とよりよい関係を築きながら、病院

一丸で地域の期待に応えていきます。

若草病院内視鏡センターでは従来、医師（常勤1・外勤6）・看護師（外来兼務で5人）の体制で、年間約1000例の検査・治療も医療機器・医療材料の管理も行ない、大きな業務負担が生じていました。

そこで昨今の医師の働き方改革で推進されているタスクシフト・タスクシェアを導入し、各専門職の専門性を生かす業務見直しに着手。2019年4月から、臨床工学技士（CE）2人が内視鏡業務に携わっています。

マニュアル整備で 適切な管理を実現

まず医療機器の適切な管理に



向け、次の三つを実施しました。
①保守点検マニュアルを用意し、日常点検やメーカー定期点

検などの年間保守計画を管財課と立案・実行する
②電子スコープの取り扱い方

法や形状、使用可能な医療材料の一覧表と操作マニュアルを作成、検査・処置時・トラブル対



洗浄履歴が記録できる内視鏡洗浄消毒装置（オリンパス社製OER-3）で、スコープを高水準消毒



内視鏡検査終了後、スコープを浸漬洗浄

GF-H200	
光学系	視野角 140°
	視野方向 0°（縦視）
	観察距離 3~100mm
	照射方式 ライトガイド方式
先端部	外径 9.8mm
海胆部	外径 Ub 210° Down 90°
	Right・Left 各 100°
駆送部	外径 9.5mm
海胆長	1030mm
全長	1350mm
鉗子	チャンネル径 2.8mm
	最小電線径 3mm
	視野内の見え方

GF-Q230J	
光学系	視野角 140°
	視野方向 0°（縦視）
	観察距離 3~100mm
	照射方式 ライトガイド方式
先端部	外径 9.8mm
海胆部	外径 Ub 210° Down 90°
	Right・Left 各 100°
駆送部	外径 9.8mm
海胆長	1030mm
全長	1350mm
鉗子	チャンネル径 3.2mm
	最小電線径 3mm
	視野内の見え方

GF-X200R1	
光学系	視野角 120°
	視野方向 0°（縦視）
	観察距離 3~100mm
	照射方式 ライトガイド方式
先端部	外径 8.0mm
海胆部	外径 Ub 210° Down 90°
	Right・Left 各 100°
駆送部	外径 8.5mm
海胆長	1100mm
全長	1420mm
鉗子	チャンネル径 2.0mm
	最小電線径 3mm
	視野内の見え方

GF-X2200	
光学系	視野角 140°
	視野方向 0°（縦視）
	観察距離 3~100mm
	照射方式 ライトガイド方式
先端部	外径 9.0mm
海胆部	外径 Ub 210° Down 90°
	Right・Left 各 100°
駆送部	外径 9.0mm
海胆長	1030mm
全長	1350mm
鉗子	チャンネル径 2.8mm
	最小電線径 3mm
	視野内の見え方

電子スコープの詳細がひと目でわかる一覧表



始業前点検で、CEがスコープの動作をチェック

応で活用する
③不具合・故障発生時はCEが必ず現状確認し対応を判断する
これらで、従来はメーカー任せだった医療機器の不具合・故障への対応は、CEが院内で完

結できるケースが増加。19~21年度に発生した計34件の不具合等のうち、5割超の19件をCEの対応で賄うことができ、保守管理費53・0%の大幅削減につながりました。

現在では医療安全・感染対策の推進と、内視鏡検査の効率UP、経費10%削減が目標。デバイスの使用頻度や在庫状況を精査・整理し、リユース製品のデイスポージブル化を進めています。

内視鏡センターの看護師は「CEの関わりは安心。わからないことも、医療機器のスペシャリストにすぐ聞けるので助かる」と話しています。

検査・治療時には、CEが電子スコープの設置、処置具（生検鉗子・スネア・局注針等）・使用機器（電子内視鏡装置・洗浄消毒装置等）の使用前点検・管理などを実施。医師の指示の下で処置具使用の介助もするほか、検査後のスコープの取り外し・洗浄、使用機器の消毒などの片付けもCEの仕事です。日本消化器内視鏡学会の「消化器内視鏡の洗浄・消毒標準化にむけたガイドライン」を参考に、スコープ

の使用・洗浄履歴の記録も、感染事故や機器の不具合発生時の備えで行なっています。



内視鏡検査中の医師（中央）の指導の下、CE（右）が処置具を介助



内視鏡スコープを管理するCE

外国人にやさしい病院

〈神奈川〉
横浜市東部病院
国際連携室
赤津祐衣

やさしい日本語や多言語で 誰でも安心な病院づくり 進行中

門知識・技術の向上と、他業務（ペースメーカー・血液浄化・手術室などの業務）との兼ね合いで検査・治療に立ち

横浜市東部病院は、外国人にやさしい病院を目指しています。2018年以降、日本の医療サービスが外国人が安心・安全に享受できる体制づくりを目指す外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）の認証や、JIHジャパン・インターナショナルホスピタルズ（渡航医療受入れ認証病院）の神奈川県外国人対応拠点医療機関となっています。当院は、外国人在住者が横浜市内で2番目に多い鶴見区にあります。ひと月当たりの外国人患者さんは外来750人・入院40人ほど。国籍では中国・フィ



リピン・ネパール・ベトナム・ブラジルの患者さんが多いです。
異文化も学ぶ
外国人患者さんの対応窓口は、15年に開設した国際連携室。医師1人・事務2人で「人種・国籍を問わず安心して安全な医療を提供し、医療の国際交流を通じて医療全体の底上げに貢献する」の実現を目指しています。
同室所属の筆者は国際臨床医



通訳用タブレット端末で、外国人患者さんにオンライン面会について説明する看護師

会えないケースの解消です。そのため消化器内視鏡技師認定の取得と、業務の見直し・再構築を進行中。CEが全症例に介入

内視鏡センターのスタッフと共に、安全に検査・治療できる環境づくりをさらに進めていきます。

できる体制の確立を目指しています。
私たちCEにとって内視鏡業務は新しいチャレンジ。
入れコネクターの研修も修了。院内全体では外国語で業務できる職員が、英語10人、韓国語5人、中国語5人のほか、スペイン語・ポルトガル語・タガログ語も1人ずついます。
以前は日本語の分からない患者さんの来院・電話に、このバイリンガル職員で対応していただいていた。そこで同意書・問診票など患者用文書の一部は、英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タイ語・韓国語の翻訳版も用意。通訳用タブレット端末を総合受付や小児科・産婦人科の外来、各階の病棟に10台配置し、職員が適宜持ち出し活用しています。
話し言葉も文書もWebもやさしい日本語で
現在は、難しい漢字・表現を避け、外国人にもわかりやすく伝える「やさしい日本語」を推奨。外来の外国人患者さんの7

割は、日本語を「話せる」か「少し話せる」ため、より多くの職員がコミュニケーションできる組織を目指しています。それに向け、「医療×やさし

い日本語研究会」の研修で、普段使いの日本語のやさしい日本語への置き換えや、外国人へ話しかける時の心掛を代表者が学び、多職種20人で構成する

医療で用いる
やさしい日本語

やさしい日本語を話すコツ
1. 一文を短くする
2. 敬称、敬語を丁寧な言葉に直す
3. 実物を見せたり、ジェスチャーを用いる
4. 図解を用いない
5. 漢字は和語に直す

「身分証明書をご提示ください」

「免許証 や 在留カードを みせてください」
(免許証や在留カードの見本を見せて示す)

やさしい日本語を話すコツ
1. 敬称、敬語を丁寧な言葉に直す（「ご住所」⇒「開せて」）
2. 実物を見せたり、ジェスチャーを用いる
3. 漢字は和語に直す（「届出」⇒「見せる」）

医療で用いる
やさしい日本語

やさしい日本語を話すコツ
1. 一文を短くする
2. 敬称、敬語を丁寧な言葉に直す
3. 実物を見せたり、ジェスチャーを用いる
4. 図解を用いない
5. 漢字は和語に直す

「今、使用している市販薬は何かありますか」

「今 薬を 飲んでいますか」

やさしい日本語を話すコツ
5. 漢語は和語に直す 「市販薬」⇒「薬」

エレベーター前などに掲示する「やさしい日本語」

国際委員会が伝達講習で現場に広めています。また毎年、有識者による異文化理解勉強会を開催。職員が「やさしい日本語」や中国・イスラムの文化・生活習慣などを学んでいます。
「やさしい日本語」では、「身分証明書をご提示ください」は「免許証や在留カードをみせてください」、「使用している市販薬はありますか？」は「薬を飲んでいますか？」と言い換えま

「た」と手応えを述べています。さらに昨年7月のJMIP更新審査では、患者さん向け文書や院内表示・ホームページを、「やさしい日本語」や英語・中国語対応に見直しました。ホームページは右下のボタンをワンクリックするだけで翻訳画面が現れます。
これらの取り組みで、外国人患者さんの対応は、国際連携室の介入なしで、各現場でできるようになりました。次はこれを地域へ広めるのが目標で、周辺医療機関と外国人対応の情報交換ネットワーク作りを検討中。手続き・対応の困り事や多言語文書をシェアし、外国人患者さんが安心して医療を受けられる地域づくりを進めていきます。

精神障がい者の の拠り所

〈埼玉〉生活支援センター
夢の実
鴻巣・北本地域障がい者基幹相談
支援センター 主任
藤下智子

精神障がい者を支え22年 暮らしやすいまちをつくる

生活支援センター夢の実
は、済生会唯一の精神科単
科病院・鴻巣病院が2000年
5月に開所した施設です。地域

活動支援センターの運営や、鴻
巣市・北本市から受託する相談
支援事業を通して、精神障がい
のある人とご家族を支援。障害

者自立支
援法の改
正に伴い、
12年から
は障がい
者ケアマネ
ジメントの
計画相談支
援も行なっ



埼玉県精神保健福祉協会から昨年、夢の実に贈られた表彰状を持つ、筆者

あなたの写真がカレンダーに!?



11月号までに掲載された記事の中で、
良い表情をとらえた写真が対象

機関誌「済生」に載った写真の中から編集部が厳選、カレンダーにしてプレゼント！カレンダーのサイズは、済生会の「なでしこの花カレンダー」と同様です。当選者の発表は本誌12月号に。応募の詳細は【撮影】大きく引き延ばすので正確なピントと適切な露出に【構図】横。画面に撮影の日付が入っているものは審査対象外【写真の規格】写真はデジタルデータに限り、サイズは1MB以上【送付方法】いつも通り、原稿と写真をセットにして本部広報室・下記メールアドレス宛に送ってください。写真のデータ量が大きい場合は大容量ファイルで送ってください【参加資格】本会支部・施設の職員

詳細は「済生」本年2月号P20をご参照ください

宛先: koho@saiseikai.or.jp



「こどもレストランゆめ」のボランティアスタッフ



鴻巣市の食生活改善推進員やボランティアが、子ども食堂の準備



人気のメニュー「スコッチエッグ」(コロナ禍のいまは弁当を配布)

がいが者虐待防止センターを、鴻巣・北本両市から鴻巣・北本地域障がい者基幹相談支援センターを受託。それを機に、基幹相談支援センターは自立支援協議会の事務局となり、関係機関のネットワークづくりに着手。協議会活動が活性化しています。精神障がいのある人やご家族が相談しやすい窓口、安心して過ごせる居場所の提供、そして共生のまちづくりをこれからも進めていきます。



利用者さん同士で話しながらお花見散歩

ピアスタッフは実体験に基づくアドバイスや共感ができ、利用者さんにとって相談しやすく、回復のモデルとなる存在です。ピアスタッフの提案で、病気や障がいにとられない自分らしい生き方を利用者さんと考え「ピアカフェ」などの活動も始まりました。利用者さんの病状悪化を心配し慎重になりがちな私たちは、ピアスタッフの「自分たちの力を信じてほしい」というメッセージを受け、利用者さんの力を信じる大切さに改め

て気づかされています。
小さな気づきが変化への一歩になれば
精神障がい者が暮らしやすいまちづくりに向け、地域に理解を広める活動も、11年から毎年「精神障がい者の明るい未来のために」フォーラム」を自治体・関係機関と開催。内容は、当事者・家族の体験談と、当事者の劇団などの発表、精神障がい者スポーツ紹介などです。参加者からは「精神障がい者

いまちづくりへつながってほしいと願っています。精神障がい者の支援以外にも、済生会の理念・生活困窮者支援で、18年10月から子ども食堂を実施。事業所が休みの土曜、児童生委員や食生活改善推進員の協力の下、月1回ペースで開催し、コロナ禍のいまは弁当配布で活動中。今年度はコープみらいから毎月、活動支援米を寄付いただいでいて、一緒に配布し大変喜ばれています。20年4月には、鴻巣市から障

回復のモデルとしてピアスタッフが活躍
地域活動支援センターでは、地域で暮らす精神障がい者が孤立しないように、料理・手芸サークルなどの日中の活動と居場所を提供しています。17年からは、精神の病気や障がいから回復してきた当事者を、常勤で1人、非常勤で3人ピアスタッフとして雇用。当初、職員は「ピアスタッフと一緒に働くってどういうことだろう?」と不安もありましたが、働き始めるとすぐ払拭されました。



利用者さんがリカバリーやピアサポートを学ぶピアサポート講座(年1回)



コロナ禍以前の茶話会



「精神障がい者の明るい未来のために」フォーラム(2018年・北本市文化センター)

の意欲や希望を知り、特別視していた自分を反省した」「誰にでも明るい未来はあるとわかった」など聞きませ。イベントで芽生えたその小さな気づきが、心の病を持った人もそうでない人も住みやす



〈岩手〉

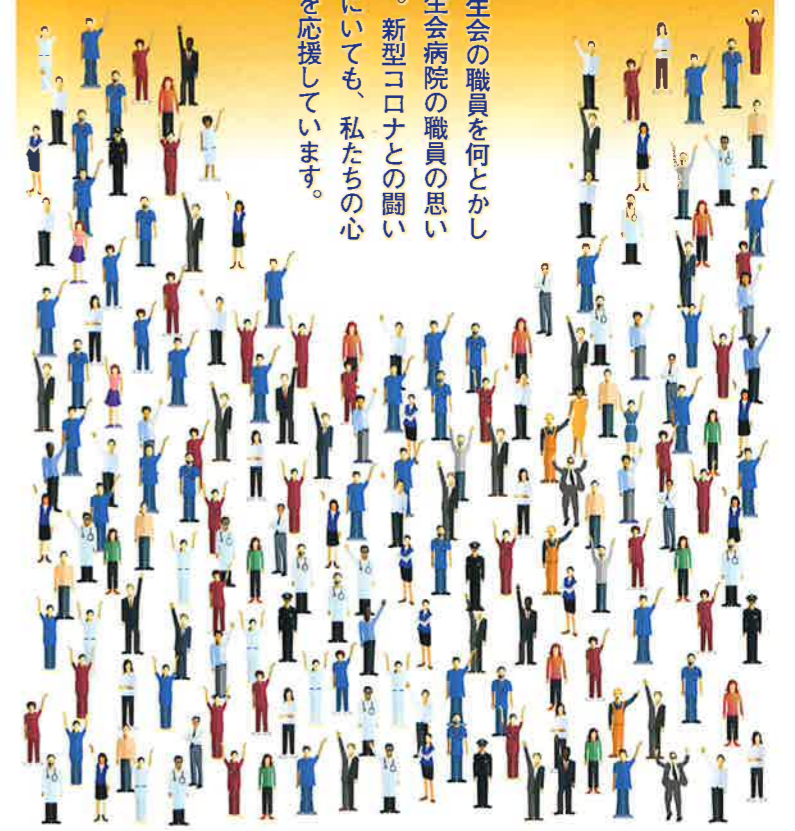
北上済生会病院



がんばろう! 済生会

KEEP DISTANCE!!

「必死でがんばる同じ済生会の職員を何とかして応援したい!」京都済生会病院の職員の思いが全国に広がっています。新型コロナとの闘いはまだ続きますが、どこにいても、私たちの心はひとつ。がんばる仲間を応援しています。



ウクライナ避難民アナスタシアさんに生活物資と支援金を提供



熊本病院

熊本病院は6月20日、ウクライナ避難民のアナスタシア・イヴァンチェンコさんに生活支援物資と支援金を渡しました。提供した物資は、当院やみすみ病院の職員が寄せてくれたプ

ランケット・ドライヤー・タオルセットなど。支援金は当院の医局で募って4万円ほどになり、冷蔵庫や電子レンジなど生活家電の購入資金となりました。今回の支援は、熊本県外国人

サポーターセンター・学校法人湖東学園と連携して実施。当院医療福祉相談室が同センターへ問い合わせ、ウクライナ避難民の学生を受け入れる予定だった湖東学園につないでもらいました。湖東学園は住まいを提供し、保険証などの各種手続きや日本語教育、経済的援助も実施。少なくとも在学中は支援を継続するとい

ソーシャルインクルージョン

済生会はソーシャルインクルージョン推進計画を策定しました。無料低額診療もなでしこプランも、この中に含まれます。だれも排除されないまちづくりを目指し、全支部・施設が1696事業を展開します。

〈岩手〉北上済生会病院



た。そこには支援に対する感謝のほか「日本語を勉強して、将来的には日本の広告会社で仕事をしたい。そしていつか母国に

〈栃木〉宇都宮病院・宇都宮乳児院

初めて女性に「コスメ」の支援も 宇都宮市立南図書館で出張相談会



宇都宮市つながりサポート女性支援事業の一環で、女性のための出張相談会を7月16日に宇都宮市立南図書館で開催し、稲見一美地域連携課長をはじめMSW3人が対応しました。

当日は43人の相談者が来場。小さな子連れの女性が多く、経済的不安・子育て・介護・求職・治療・人間関係

「生理用品で困った」女子中学生が15% 下野新聞が「つなサポ」を取材

〈栃木〉宇都宮病院・宇都宮乳児院



荻津守乳児院長と稲見一美地域連携課長（MSW）が8月5日、「つなサポ事業」について下野新聞の取材を受けました。「生理用品がなく困ったことがある中学生が15%、うち親を頼れないとの回答が3%あった」紙面では、宇都宮市の女子中学生の生理の不安や困りごとを把握するため「つなサポ事業」

「つなサポ事業」では、昨年度から宇都宮市内の小中学校の女子トイレに生理用品を設置しているほか、必要な生徒には無償で配布。今年度も引き続きこの活動を展開しています。

（地域連携課 秋山綾香）

『生理の貧困』は男性にも無関係じゃない」宇都宮大学で「つなサポ」を講義

〈栃木〉宇都宮病院

宇都宮市つながりサポーター女性支援事業の連携機関の一つ、国立大学法人宇都宮大学で7月6日、地域連携課・稲見一美課長（MSW）が「つなサポ事業」について講義し、約70人の学生が聴講しました。同大学では学生が主体となり、生理用品をトイレに設置したり無料配布したりする活動を積極展開しています。

講義内容は「つなサポ事業」の受託に至るまでの経緯、事業内容、実際につなサポ相談室に寄せられた相談内容について。実際の相談内容を聞いた学生は「私も自分でできることを考えていきたい」「生理の貧困」は、自分が男性だから関係ないと決めつけず、一歩踏み入れて考えるべきなど前向きな声が多数上がりました。



（地域連携課 菊地悠一郎）



など、多岐にわたる悩み相談に応じました。なお今回初めて「コスメバンクプロジェクト」も実施。旧仕様品などで品質には問題がないものの、再販売が難しくなった良品のコスメ類を企業から募り、困窮する女性に無料配布する活動です。プロジェクトを手掛ける、

一般社団法人バンクフォースマイルズの協力で実現しました。併せて、生理用品を十分に手に入れることができない人たちへも、多くの生理用品をお渡しすることができました。

（地域連携課 秋山綾香）



夏休みの子育て世帯に食料支援 患者さんも協力

〈福岡〉飯塚嘉穂病院

夏休みに入り食料難に陥る可能性のある子育て世帯を支援し

の一環で、当院と宇都宮大学が昨年共同実施したアンケートがこう紹介されました。

取材の中で稲見課長は「親に頼れないとの回答は少ないかもしれないが、放っておけない。このような生徒や保護者を、相談や支援につなげていくことが必要」と答えました。そのうえで、学校・行政と、当院のような民間支援ネットワークが連携し、継続的な支援をしていくことの重要性を指摘しました。

飯塚嘉穂病院はそのためのフードドライブ活動で、職員や患者さんなどに家庭内で余った未開封食品の寄付を呼びかけ、集まった計615点を7月28日、NPOフードバンク飯塚に提供しました。たくさんのお菓子やインスタント食品のほか、子ども用マスクを持参する人もいました。患者さんの中には、午前中に寄付を呼びかけるポスターを見て、わざわざ午後再来院してくれた人も。その行動は私たちが温かい気持ちにしてくれました。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、直接的な支援が難しい中「今できることを考え、輪を広げる」こと



がとても大切です。今後は地域のケアマネジャーたちにも声をかけ、活動を広げながら継続していきます。

（地域医療連携室課長 濱崎妃沙子）

良質の在宅サービスを継続するために 経営意識を高める

会長(唐津医療福祉センター長) 園田孝志

全国済生会在宅サービス協議会が、7月16日に三重県四日市市で開催されました。「良質の在宅サービスを継続するために経営意識を高める」を全体テーマに、140事業所から192人が現地とWebのハイブリッド方式で参加しました。総会に続き、「三重」明和病院特別顧問で三重大学特定教授の冨本秀和氏が、「認知症の地域包括ケア」と題して講演。認知症への理解を深めることができました。その後、五つの部会



が開かれ、全体テーマに沿った熱心な討議が行なわれました。

今回はシンポジウムを行なえませんでした。部会終了後には各部長から報告があり、改めて在宅サービスの重要性を認識しました。担当していただいた三重県済生会、明和病院のみなさまにはお世話になりました。
次回は(和歌山)有田病院が担当で、令和5年7月22日に和歌山市で開催予定です。

訪問看護ステーション部会 経営安定の工夫を共有

〈千葉〉済生会ならしの訪問看護ステーション 所長 加藤晴子

「持続可能な訪問看護ステーションを目指して、今、必要なこと」をテーマに42事業所から56人が参加しました。
事前アンケートの結果報告に続いて、5事業所から、経営安定の工夫や地域包括ケアの取り組みを発表。「人事交流で訪問

看護と病院看護部双方が成長する取り組み」「訪問看護が率先して形作った地域の多職種連携システム」「地域のケアマネへのアンケート結果から導き出された利用者獲得と連携強化」等について意見交換も行なわれました。

地域包括・在宅介護支援センター部会 事業継続の工夫を共有

〈東京〉港区立南麻布地域包括支援センター 社会福祉士

佐藤志穂子

「どんな状況でも事業が展開できる工夫を考えること」をテーマに、16人が参加しました。

コロナ禍におけるサービスの工夫や、今後の事業所の運営等の事前アンケートの結果が報告されました。コロナ感染再拡大で事業運営に制限があるなかで、地



当部会では今年度から、会長1、副会長2、書記1、各プロジェクト代表を役員として組織的な活動を行ない、人材確保や人材育成に取り組んでまいります。



域包括支援センターのさらなる業務拡大を考慮しなければならぬ事業所もありました。

参加者のディスカッションは、少人数のため全員の声を聞くことができました。少ない職員数でも、コロナの感染に気を付けながら事業を継続してサービス

訪問介護事業所部会 中身の濃い意見交換

〈埼玉〉済生会ケアステーション 管理 福田亜希

継続性のある訪問介護事業所を目指して、9施設から13人が参加。①収益向上、②人材育成・確保、③新型コロナウイルス対策とBCP、④ICTとSDGsについて、意見を交わしました。

短時間ながらも、各テーマについて、成果が現れた取り組みなど中身の濃い意見交換を行なうことができました。全国済生会という横のつながりを生かした意見交換が、より一層質の高いサービス提供や事業運営に結びつくことを実感しました。
多忙の中、参加した皆様、また、支部内に訪問介護事業所がないにもかかわらず、部会の準備に協力いただいた三重県済生会の皆様には感謝申し上げます。



居宅介護支援事業所部会 新たな知識の情報を共有

〈愛媛〉今治指定居宅介護支援事業所 管理 中村一人

「ケアマネジャーの視点で考える『質の高い支援とは?』」質の高い支援を提供するために私たちに出来ること」をテーマに35施設から40人が参加。新人教育や自己研鑽のあり方、権利擁護の理解などについて話し合いました。

また、ヤングケアラーや離職ゼロに向けたワークサポートケアマネジャーの養成など新たな知識の必要性についても情報共有をしました。

参加者への事前アンケートでは、「他事業所の取り組みを聞きたい」という意見を踏まえ、招待制のメーリングリストやインターネット掲示板を利用した



情報交換の仕組みを構築しました。
全国済生会の横のつながりの強化に活用し、サービスの質の向上に役立てば幸いです。

通所介護・通所リハビリ部会 顔を見て情報交換することの 大切さを再認識

部会長 木村英二

「健全な施設運営を目指して」をテーマに、Webも含めて34施設が参加しました。

事前アンケートの結果報告に続き、「地域密着型通所介護移行への取り組み」「栗東デイサービスの新たな取り組み」を発表しました。

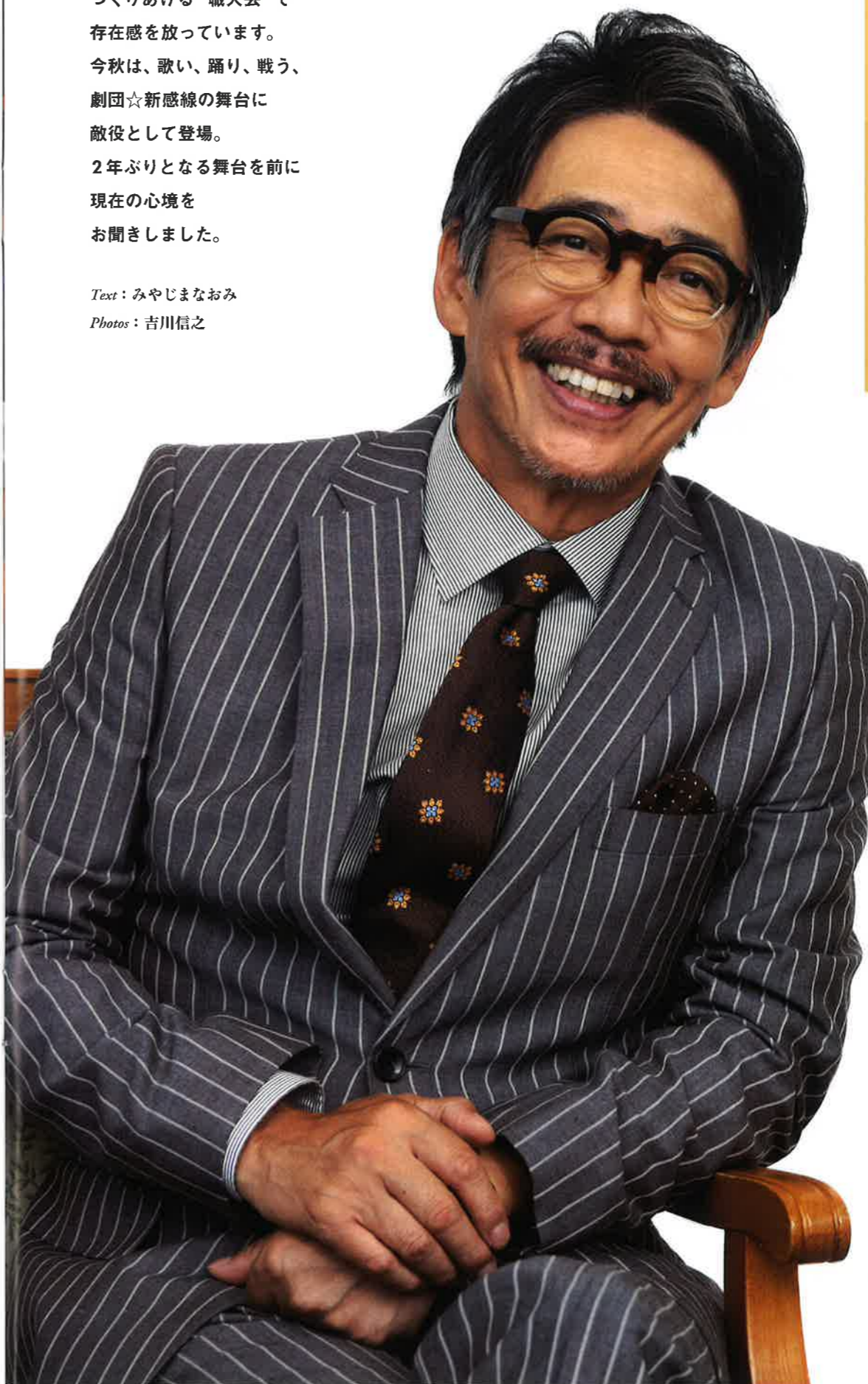
筆者は運営体制変更の背景・移行スケジュール・移行後のサービスなどを説明。(滋賀)栗



東デイサービスセンターの角田耕一郎氏は、介護システムの活用、居宅介護支援事業所アンケート調査などを報告しました。
グループディスカッションでは通所介護では稼働率アップに向けた新しい取り組み状況や加算の算定状況を、通所リハビリは新しい営業形態での取り組みなどについて話し合いました。
お互いが顔を見て情報交換する大切さを再認識しました。

生瀬勝久

Katsuhisa Namuse



個性的な役を演じることの多い
生瀬勝久さん。
毎回、新しいキャラクターを
つくりあげる“職人芸”で
存在感を放っています。
今秋は、歌い、踊り、戦う、
劇団☆新感線の舞台に
敵役として登場。
2年ぶりとなる舞台を前に
現在の心境を
お聞きしました。

Text: みやじまなおみ
Photos: 吉川信之

先の動きが予測できない人ほど見ていて面白い。
そういうキャラクターを目指しています。

「与えられた役を常に新鮮に演
じたい。『今日の芝居は面白か
った』と言われても、次の日に
同じことをするのは嫌なんです。
だから千秋楽ですべてのときもあ
る(笑)。でも、それが僕の生き
方なんです」と明るい口調で語
る。

できないキャラクターで舞台を
かき回し、お客さまの血が騒ぐ
ような作品にしたいと思いま
す」

本作は「世代交代」がテーマ
の一つだが、生瀬さん自身は、
「若い役者さんに、僕らが現場
でどれだけ楽しんでいるか見て
もらう」スタンスだという。「僕
が若手の時代は大好きな先輩、
柄本明さん、竹中直人さんを追
いかけていました。彼らは今も

なお面白い。お会いす
るたびに『あなたに憧
れてこの世界に入りま
した!』と伝えてきます。僕も
そういう先輩になれたらいいで
すね」

そのパワー、若々しさの秘訣
は? 「やはりプライベートが
充実していること。釣り、ゴル
フ、料理……いろいろやりたく
て時間が足りないくらいです。
それから健康に気をつけて、嫌
なことを一切やらない。実は今
回の舞台で苦手な歌と踊りに挑
戦するんですけどね(笑)」

一体どんな生瀬さんが見られ
るのか、乞うご期待!



なませ・かつひさ 1960年生まれ、兵庫県出身。大学在学中の
1983年に関西の人気劇団に入団し、俳優だけでなく、劇作家、
演出家としても活動。2001年の退団後は、「トリック」「ごく
せん」「リーガル・ハイ」シリーズなどでひととき異彩を放つ
存在感を見せつけ、数々のテレビドラマ、映画、CMなどで幅広
い活躍を続けている。近年の主な出演作品に、舞台『獣道一直
線』『グッドバイ』、映画『あなたの番です 劇場版』『コンフィ
デンスマンJP』、ドラマ『未来への10カウント』、バラエティ『そ
れって!? 実際どうなの課』など多数。

2022年 劇団☆新感線 42周年興行・秋公演 SHINKANSEN ☆RX
『薔薇とサムライ2 -海賊女王の帰還-』

天海祐希扮する海賊アンヌが古田新太演じる石川五右衛門と
ともに大暴れした『薔薇とサムライ〜GoemonRock OverDrive
〜』(2010)の12年ぶりの続編。女海賊アンヌが天下の大泥
棒五右衛門の協力を得て王国の混乱を収め、国王となって十
数年が過ぎた頃、王国は新たな危機に直面し、アンヌは国民を
守るために五右衛門とふたたび立ち上がる。

■作: 中島かずき ■作詞: 森雪之丞 ■作曲: 岡崎 司
■振付・ステージング: 川崎悦子 ■演出: いのうえひでり



■出演: 古田新太 天海祐希/石田ニコル 神尾楓珠/高田聖子 栗根まこと 森奈みはる 早乙女友貴 西垣匠/生瀬勝久 ほか
【富山公演】9月9日(金)~11日(日) 【新潟公演】9月22日(木)~25日(日) 【大阪公演】10月5日(水)~20日(木) 【東京公演】11月1日(火)~12月6日(火)

Styling: 中谷東一
Hair & Make-up: 田中智子



Vol. 148



口福につぼん

吉井省一

上州(群馬県)出身の方と、子どものころの思い出話に花を咲かせていると、幾度となく登場するのが、お祭りの屋台で買い食いした、焼まんじゅうの美味しさ懐かしさ。彼らは子ども心に「当然、全国の屋台でも売られているもの」と思っていたのに、上京してからは見たことがない、というのです。

まんじゅうと聞いて、あんこが入った和菓子と思われた甘党の方にはお気の毒ですが、今回は小麦粉の生地をふかし、甘辛のたれを塗って焼き上げた、どちらかというと、小腹を満たしてくれる食べ応えあるまんじゅうのお話。群馬県民自慢の郷土料理です。

粉もん好きの上州育ち、素朴でほっとする味
そもそも群馬県は、粉もん(小)



外はカリッ・中はフワッの食感は、創業で炭火を操る老舗の職人の成せる技

麦粉を使った食べ物(文化)が根付いた土地柄。水沢うどんやおつきりこみ、太田焼きそば、高崎パスタなどの麺料理をはじめ、地域ごとに独特な粉もん食があります。これを裏付けるように、小麦粉の生産量も全国第6位(令和2年)。

の頃と言われている。発祥の地はどのも定かではありません。いようです。

60 焼まんじゅう

もちろん、機械に頼ることなく、職人さんの手作業で丁寧に作られていて、肝心の味噌だれも一子相伝のものを使っているとか。焼まんじゅう一筋に百年以上の名店は、味へのこだわりが違います。

さて、それでは実際に焼まんじゅうをおうちで仕上げていきましょう。

焦げ目と味噌だれが食欲をかきたてる

国定忠治の三度笠や道中合羽が描かれたレトロチックな包み



朝からお客さんが、続々と来店。午後3時前に売り切れ・営業終了となることもしばしば



済生会の[病院・施設]がある県内の市町村

よいい・せいいち 一般社団法人日本作詩家協会理事。コピーライター時代に老舗百貨店の食の通販誌で約30年執筆に携わり、試食した食品の数は1万点を超える。



艶々としたお店での仕上がり。おうちでこの完成度は難しくても、できたては感動ものの美味しさ

紙を開くと、白い素まんじゅうが箱にぎっしり。そう、まさに隙間なくぎっしりの見た目です。次に、まんじゅう一個の大きさに驚かされます。軽く触ってみると、ふわふわした感触。これ

に味噌だれと刷毛がセットになっています。

この素まんじゅうを、まず電子レンジで20〜30秒ほど温めます。それからフライパン(テフロ加工がおすすめ)に油を引かずに、表面に焦げ目がつく程度に焼いていきます。片面40秒から1分半くらい。裏返して焼いたら、こだわりの味噌だれを刷毛でサッと塗り上げてできあがり。お好みで市販の串に刺してみると、ちよっと旅気分が



プロの熟練技(写真)を参考に、おうちでもぜひ。味噌だれや刷毛付きなので、あとは素まんじゅうをいかに焼き上げるかが勝負。たれは、お店では最初たっぷり、仕上げにもうひと塗りしている

高まります。味噌の焼けた匂いがブーンと実に香ばしい。お口に入れると、ふわつとした食感に、一子相伝の味噌だれが後を引く素朴な味わい。まんじゅうはやや大

きめですが食感が軽やかなので、すぐに2個目を頬張りたくなります。噛み締めるほどにほんのり甘みと酸味が感じられるのは、どぶろくのなせる業なのでしょう。

アツの焼きたてが最も美味しいのは言うまでもありませんが、くれぐれも焼き過ぎにはご注意ください。味噌を真っ黒にして一子相伝の味を消しては元も子もありませんから(笑)。

何だか江戸時代の旅人になって、峠の茶屋で熱い番茶などをすすりながら食している気分。そう、これには日本茶がびつたり。これから寒くなってくると、夜食なんかにもおすすめです。

もちろん、この焼まんじゅうは、アツ

焼まんじゅう箱詰【12串半(50個)】 [一子相伝のたれ大1袋、たれ1袋、刷毛付き]



2,500円(税込・送料別)
賞味期限……冷蔵で1週間以内が目安
(特に夏場は、商品到着後要冷蔵)
お取り寄せ・お問い合わせは
福島屋 TEL: 0270-74-5632
〒370-0126 群馬県伊勢崎市境下武士2699
営業時間: 8:30 ~ 15:00 (月曜定休)
ホームページ: www.fukushimaya-yakimanjyu.jp/

今年はおうちで！ 折り紙ハロウィーン

HAPPY
Halloween



ぼうし

1 1/4に切った折り紙の上の角を折る

2 左右の角を折る

3 下の辺を山折りし、裏返す

4 図のように折る

5 左右の角を山折り

山折り
谷折り
裏返す

だれでもかんたん
てづくり
おもちゃ

おばけ

1 1枚の折り紙の上の角を折る

2 点線で山折り裏返す

3 開くように折る

4 下の辺を折る

5 切込みを入れ開くように折る

6 上の角と下の左右の角を山折り。真ん中の左右を折る

7 丸シールで顔を描く

8 ぼうしを貼る

小さいおばけは1/4サイズの折り紙で作ってね

ねこ

1 おばけと同じものを作り、図のように切り、切り込みを下に折る

2 切り取った折り紙を半分に切る

3 両角の先を切り取る。左右の角を山折りし、裏返す

4 2で半分に切った折り紙を貼る

異なる2色の折り紙を重ねて折るよ！

切りこみ

プレート

1 1枚の折り紙の下を折る

2 上の辺を折る

3 四つの角を山折り

4 文字を書いてシールやパンチなどで飾る

5 裏返して顔を描く

折り紙の旗をつけたガーランドと一緒に飾るとかわいいよ！

HAPPY Halloween



【いまいみさ】手づくりおもちゃ作家。折り紙や牛乳パックなどをリサイクルして手づくりの楽しさを伝えています。著書に「12か月のおりがみ壁飾り」など36冊。2011年から、小学校2年の教科書「こくご」（三省堂版）にも登場。「季節のイベント折り紙」（日東書院）など多数。



動画もcheck!
作品・折り図：いまいみさ
おりがみ協力：株式会社トーヨー



子どもたちが親元を離れて保育士や園児と一緒に過ごした、(熊本)しらふじ子ども園の夏の一大イベント。楽しい思い出となったことが写真から伝わってきます。この記事は42ページをご覧ください。

topics

チーフコーチは理学療法士

(神奈川) 若草病院

横浜野球肘検診推進協議会が主催した横浜市内の少年野球チーム対象の肘検診にスタッフとして参加したこと。その後、高校野球神奈川県大会のメディカルサポートにも参加し、野球肘傷害防止に取り組んできました。



リハビリテーション部の石渡隆二理学療法士は、今年からお子さんが在籍する小学生の野球チーム・金沢スカイヤーズのチーフコーチを務めています。石渡PTが野球に関わりはじめてきたきっかけは2013年、横浜野球肘検診推進協議会が主催した横浜市内の少年野球チーム対象の肘検診にスタッフとして参加したこと。その後、高校野球神奈川県大会のメディカルサポートにも参加し、野球肘傷害防止に取り組んできました。

その経験を生かし、現在のチームでは独自のフィジカルコンディショニングチェックを構築。幼い子どもが安全にスポーツを続けられるよう、普段の練習から体に負担がかからないフォームを指導し、関節可動域測定を踏まえ、保護者へ体調管理法も提案しています。

当院の優秀な医療スタッフがバックアップするスカイヤーズの今後の活躍が楽しみです。

(済生記者 高木裕子)

送迎車両を有効活用 買い物の不便解消します

神奈川県病院は7月27日、無料シャトルバスによる買い物支援サービスを実施しました。この車両は当院の透析患者さんの送迎に使用しているもので、その時間外に車両を有効活用したサービスです。町内会や社会福祉協議会などと連携し、月に



1回、買い物に不便を感じる人を無料で送り迎えしています。いつもは地元のパートへ行きますが、この日は利用者さんのリクエストで、子どもを含む9人を乗せ大型ホームセンターへ。目印の黄色い腕章をつけてもらい出かけました。いつもより遠出したため、買い物時間は短めでしたが、ちょっとしたツアー気分をみなさんとても楽しんでいました。

小型家電製品やすだれ、植木鉢やお花など、公共交通機関では少々持ち帰りづらい物をたくさん購入できたこと、みなさん喜んでいました。

(済生記者 小山友輝)

移転初の地域連携カンファ

加須病院は、移転後の第一回地域医療連携カンファランスを7月13日、対面とWebの



ハイブリッド形式で開催し、角田守良加須市長はじめ173人が参加しました。地域医療支援病院として、近隣医療機関などとの顔の見える連携を構築するため、紹介患者さんの症例発表や医療の最新トピックを共有する場です。

栗橋病院時代には2010年から30回の開催実績があります。特別講演では、慶應義塾大学医学部外科学の北川雄光教授が「DX時代における病院の未来像」と題して、カルテや看護記録の自動化、患者さんのスマホへのデジタル情報提供などを先行して取り組む事例を紹介。

特別講演では、慶應義塾大学医学部外科学の北川雄光教授が「DX時代における病院の未来像」と題して、カルテや看護記録の自動化、患者さんのスマホへのデジタル情報提供などを先行して取り組む事例を紹介。

早期リハビリで費用削減 内科病棟に特別賞

(三重) 松阪総合病院

「病气から解放されることは当然として、心も体も健康に生きるWell-being社会の実現に向けて、今までは違った未来型の予防医療を展開していきたい」と結びました。

特別賞を受賞した1病棟5階の内科病棟では、入院時からリ



ハビリテーション介入の必要性を説明し、リハビリテーションの介入数を増加させ、平均在院日数の減少に努めることに取り組みました。その結果、2021年度は前年度との比較で、リハビリテーションの開始日が7日早まり、平均在院日数は2.4日減少しました。

管轄する祖父江亜紀子看護師長は「リハビリテーションの介入増加だけで平均在院日数が減少したとは言えないが、早期リハビリテーションによる介入増加は合併症予防となり費用削減につながる」と、冷静に自己分析・評価していました。

(済生記者 田端雄輔)

「臨床宗教師」の資格を目指す人の実習受け入れ

香川県済生会病院

香川県済生会病院は7月から「臨床宗教師」の実習を初めて受け入れています。

臨床宗教師とは、被災地や医療機関・福祉施設などの公共空間で心のケアを提供する宗教者



ていましたが、実習で療養病棟の患者さんの傾聴が始まると、互いに笑顔で話す様子に「安心。実習生の楠應知さんの目標は、日本臨床宗教師会の「認定臨床宗教師」資格取得。現在は、臨床宗教師養成教育プログラムを備える東北大学臨床宗教師実践講座で学んでおり、その一環で実習に来ました。

「実習を通して、ケアを必要としている人に心で寄り添い、ありのままを受け止め、支えることができるようにしたい」と意気込んでいます。12月まで週1、2回実習に訪れ、患者さんだけでなくご家族、医療スタッフへの傾聴も行なっています。

（総務課 西山汐里）

のこと。布教や伝道を目的とするのではなく、対象者の価値観を尊重しながら宗教者としての経験を生かし、苦悩や悲嘆を抱える人々に寄り添います。初めて耳にした職員は「どんな人なのか」と最初こそ戸惑っ

（鳥取）境港総合病院
佐々木院長が第7波を語る
中海テレビニュースで
8月3日の中海テレビニュース「新型コロナウイルス時代を生きる」に、佐々木祐一郎病院長が出演しました。



佐々木院長は、新型コロナウイルス第7波の感染拡大における医療機関の現状と対応策について次のように答えました。

「過去にない危機的な状況であり、発熱外来の受診数や感染者の入院が増加している。また、職員が濃厚接触者になり勤務を制限せざるを得ない状況があり、感染者の入院や通常医療を維持するために、一般病床30床を閉鎖して対応している」

その上で「感染症指定医療機関である当院だけでなく、診療所を含めた地域が一丸となってこの危機を乗り越えていかねればならない」と訴えました。

（済生記者 坂本佑太）

山口地域ケアセンター
パワハラのない職場を

当センター初のパワーハララスメント対策研修会を8月8日、オンラインで開催しました。

講師は、当センターの顧問弁護士・黒川裕希さんにお願いしました。まずパワハラの定義を



解説。パワハラになり得る行為。該当しない行為を具体的な事例で説明し、「人格を否定するような発言はしない。指示に対して根拠を持った指導をすることが重要です」と述べました。続いて、行為者にも被害者



にもならない対策を教授。コミュニケーションのある職場づくりの重要性や、被害を受けたらすぐに申し出る・相談する、他人の被害を見て見ぬふりをしないといった具体策を提示いただきました。

研修内容を踏まえ、全職員でパワハラのない職場づくりを目指していきます。

（済生記者 楊 玉華）

（鳥取）境港総合病院
訪問診療は
背中に注目！

境港総合病院は今年度ユニホームをリニューアルしました。

中でも、昨年10月に

「地域医療連携室」から名称を変更した「地域医療総合支援センター」のユニホームには、施設名と済生会の紋章などこの刺繍を施しました。センター長（医師）・副センター長（副看護部長）・看護師・社会福祉士・事務員が所属し、訪問診療などで地域へ出かけることが多い部署なので、当院をわかりやすくアピールし、「済生会ブランド」を地域へ広げていくためです。さらに外国人にもわかる国際的なユニホームをと、刺繍はアルファベット表記にしています。

患者さんからは「わかりやすい」「職員も「部署の一体感が高まった」と好評。コロナ禍が続く中で、気持ちも見え目もリフレッシュして、職員一同この難局を乗り切っていきます。

（済生記者 坂本佑太）

〔北海道〕小樽病院
おみこしわっしょい



院内保育所なでしこキッズクラブは8月5日に夏祭りを開催しました。
北海道の夏らしく、快晴のこの日の最高気温は23度。絶好のお祭り日和の中、32人の子ども

たちがみこしを担ぎ、病院のまわりを一周しました。
今年のみこしは、保育士手製のスーパーマリオ。浴衣や甚平でばっちり決めたみんなが元氣よく「わっしょい、わっしょい」と通過すると、入院患者さんや

外来患者さんは笑顔になり、大きな拍手が沸き起こりました。
コロナの感染拡大が止まらず厳しい状況は続きますが、子どもたちには笑顔いっぱいのお楽しみ夏の一日となりました。
(済生記者 松尾寛志)

〔茨城〕常陸大宮済生会病院
中学生が医師・看護師体験



地元・大宮中学校の生徒4人が8月3日、看護師・医師の職業体験で来院しました。
看護師志望者は、座学や見学のほか、病棟で患者さんと会話したりストレッチャーへの移乗介助に挑戦したりしました。医

師志望者も医師業務体験に臨み、日々の過ごし方を語る医師の話を見聞に聞きました。医師を患者に見立てた疑似診察では、聴診器や携帯型心電計に触れるなど、貴重な体験もできました。
体験後のアンケートで中学生は「患者さんと触れ合うことができてうれしかった。看護の仕事にやりがいを感じた」「改めて医師のすごさを痛感した」と述べました。
(企画課 小池直人)

福井県済生会病院

放射線治療が新ステージへ

福井県済生会病院の放射線治療センターは9月に新型トモセラピー（放射線治療装置）を、来春にはサイバーナイフを導入し、さらなる診療の質の向上を目指しています。
現在のトモセラピーは2009年に導入。多くの診療実績を重ねてきましたが、①動態追尾機能の欠如②画像誘導放射線治療が十分とは言えない③治療・照射に時間を要する——という弱点があります。
9月に稼働開始する新型は、その克服のため改良を重ねた究

極の後継機で、サイバーナイフを補完する役割が期待できます。これまで以上に洗練されたスムーズな治療ができ、照射時間も約半分に大幅に短縮でき、当院の目標「患者さんに優しいがん治療」がいつそう前進します。
呼吸機能が低下した患者さんにも安全に適応でき、病院にと



つては処理能力の向上による治療数増加で収入増にもつながります。これを機に、さらに福井県内や北陸全体のがん治療の発展に寄与していきます。
(放射線治療センター長 菊池雄三)

〔山形〕特養愛日荘
記憶に残るスイカ割り
「もういいぞ！コロナ」

夏の風物詩・スイカ割りがある夏のレクリエーションを8月7日に開催しました。
「感染症対策で人との距離があるいま、それが心の隔たりにならないようにしたい、スリルと楽しさを久しぶりに感じてほしい」——こんな意図で、記憶に残るスイカ割りを目指しました。触れ合うことに制限がある中、純粹に楽しく活動いただけると不安もありましたが、参加した



入居者さんはみな笑顔で、そんな思いはすぐ解消。一同で楽しく季節を感じました。
いま願うのは、コロナとの共存がますます進み「More More コロナ」になること。山形弁だと「もういいぞ！コロナ」（もういいません、コロナは！）に聞こえるこの言葉を胸に、安心を脅かす感染症とうまく共存できるような対策をしながら、入居者さんの笑顔のために日々の生活を支援していきます。
(介護職員 高橋佑輔)

〔山口〕下関総合病院
就職説明会に21人来院

下関総合病院は8月17日に就職説明会を開催しました。参加者は、2024年度に卒業見込みの看護学生21人で、県外の学生もいました。



や段階的で充実した教育・研修体制について話しました。
その後、参加者を4班に分け、今年度採用した看護師4人が各班に1人ずつ入り、看護学生の

まず森健治院長が当院の概要を紹介。続いて藤田恵看護部長が、看護部が掲げる「なでしこの心で品格がある あたたかい看護の創出」や、全看護職員が互いに切磋琢磨し「T.M.M.徹底」の学ぶ・まねぶ（真似る）が合言葉と説明。関野尚子副看護部長も、プリセプターシップ

質問に答えたり、新採用者の現状を伝えたりしました。
コロナ禍では、インターンシップを就職説明会へ変更しています。限られた時間ではありますが、当院の魅力を知ってもらう機会になったと感じます。
(済生記者 下村桂子)

漫画「ヘルパー日記」特別編
「今日はなんでお寿司なの？」

〈滋賀〉 特養淡海荘

少し前ですが、本誌・大雑報に寄稿された記事がちょっと笑える話だったので漫画にしてみました。さすが芝原さん。楽しい漫画をありがとうございました！
（本部広報室）

淡海荘では、訪問介護の現場を利用者さんや地域住民に広く知ってもらおうと、昨年度から施設の広報誌に4コマ漫画「ヘルパー日記」を連載しています。それを本誌「済生」6月号に投稿したところ、本部広報室から「ぜひ漫画にしてほしい話題があるんですが……」と連絡がありました。お題は済生会のある施設のイベント風景とのこと。早速、作画担当の芝原圭織さんに伝え、「特別編」の漫画を描いてもら



芝原圭織さん



いまは。芝原さんは、全国に配布する本部広報誌の依頼に緊張。それでも「いつものように利用者さんのいきいきした表情や、職員の優しい雰囲気表現をよう努めました」とコメントしています。出来上がった漫画が上です。現場の和やかな様子の描写は、多くの福祉施設に共感いただけるのではないのでしょうか。
（済生記者 野口景市）

新ビジョンを考える
戦略ワークショップ

〈埼玉〉 川口総合病院

川口総合病院はこのほど新ビジョンを策定し、管理職などの意思統一を図る戦略ワークショップを7月に開催しました。刷新したビジョンは「選ばれた病院を目指して、地域から信頼される救急・専門医療の提供、職員が働き続けたい病院」。組織基盤を強化し、職員の意思統一・総力結集を進め、地域住民からも職員からも選ばれる病院を目指します。
まず参加者一人ひとりがビ



ヨソ実現の戦略を考え、職種などの垣根を越えてグループ内で発表・共有。みな集中して活発に意見交換しました。佐藤雅彦病院長は、「職員が新ビジョンについて考えるよい機会となり、他職種との親睦も深まった。何となく顔は知っていても、職種や所属が異なると話したことがない人も少なくない。まずは互いを知ることが大事です」と述べました。
（済生記者 原 衣里奈）

旧暦の七夕に願いを込めて

鹿児島病院

鹿児島では旧暦の8月に七夕飾りを行います。今年も「患者さんに少しでも季節感を味わっていただければ」と、色とりどりの七夕飾り5本を設えました。以前は、庭先に笹を飾る家が多く、夏休みの登校日には七夕飾りを眺めながら通学路を歩いたことが懐かしい思い出です。高齢の患者さんにとっても、昔ながらの旧暦の七夕行事は、懐かしい記憶を呼び起こすきっかけにもなります。各病棟では、一日も早い新型コロナウイルス



収束と世界平和を短冊に記す患者さんの姿が見られました。
（済生記者 竹中康代）

京都済生会病院

見て見て、新ホームページ



京都済生会病院は6月の新病院移転に合わせて、ホームページもリニューアルしました。新ホームページは、患者さんやご家族、求職者の知りたい情報がすぐに見つけられるように内容を整理。特に検索の多い項目は「よくアクセスされるページ」として表示しています。広報誌「京なでしこ」の記事や、当院公式LINEで発信する情報の見せ方も工夫。従来はPDFで表示していました。が、気軽に読んでいただけるように、見やすく読みやすいWebマガジン形式に変えました。どんな大きさの画面でも、見やすく表示するレスポンシブWebデザインを採用。PC・タブレット端末・スマートフォンなどのデバイスに応じ、最適な表示が可能です。見やすさ・使いやすさ・分かりやすさを兼ね備えた、新しい京都済生会病院のホームページをぜひ一度ご覧ください。
（済生記者 村瀬佳奈子）

〔鳥取〕 境港総合病院
野菜づくりもリハビリ

この夏、当院リハビリテーション科では、患者さんに中庭でトマトとナスを栽培してもらっています。

病室を出て外気に触れながら、日々、水やりや成長観察、収穫



などをしていく中で、患者さんが季節感や日にち感覚を取り戻してほしいと取り組み始めて3年。プランターで細々とはありますが、患者さんと「トマト赤くなってるよ」「虫にやられてるわ」と一喜一憂しながら

育てています。

野菜を育てる共通体験を通して、患者さん同士の交流も生まれています。毎日のリハビリテーションと野菜づくりで、心も体も元気になってほしいです。

リハビリテーション科

宮崎 篤

〔広島〕 特養たかね荘こやうら
星空がきれいだねえ

7月7日の七夕にプラネタリウムを開催しました。

「利用者さんに星空を見せたい」と職員が発案。少しでも満天の星空に近い雰囲気を楽しんでもらおうと、天井の広い地域交流ホールに、家庭用の投影機で星空を映し出しました。

「久しぶりに夜星が見られた」「星がきれいだねえ」と評判も上々。さすがに本物のプラネタリウムには見劣りしますが、満天の星々を見ながら、職員が調べた七夕の由来や織姫・彦星の話も披露しました。

コロナ禍で自由に外出できない状況は続きますが、施設内でできる余暇活動を工夫していきます。

（介護福祉士

西原圭佑

〔三重〕 明和病院

もの忘れフォーラムに80人

明和病院は「もの忘れフォーラムin明和町」連携による地域の健康づくり」を7月30日、明和町の斎宮

れが気になったら」の2題です。

入場制限や発声を避けるために質疑応答を割愛するなどの感染症対策を講じた中、地域のみなさん約80人が参加しました。来場者からは「とてもためになった」「また開催してほしい」とうれしい声をいただきました。

（済生記者 石田真史



話し合いを促すツールで
糖尿病を学び合う

〔神奈川〕 若草病院

若草病院は「糖尿病カバンバセーションマップ」を使った糖尿病教室を毎週開催しています。これは糖尿病患者さんや家族・友人などのグループで話し合いながら糖尿病について互いに学び合う、120カ国で使われている教育ツールです。

糖尿病教室は、日本糖尿病療養指導士や緩和薬物療法認定薬剤師の資格を持つ、薬剤師の宮永幸実係長が担当。「糖尿病の患者さんとさっくばらんに、糖尿病のことを話題にできたらいいのに。気持ちを吐露できる場を作ろう!」と、このマップを導入しました。

糖尿病教室では、年齢も生活背景も病状も異なる患者さんが、ときに家族も参加する場で、素直な気持ちを表しています。当院はこれからも、糖尿病患者さんと共に歩むよき伴走者としてこの活動を続けていきます。

（済生記者 高木裕子

〔福井〕 老健ケアホーム・

福祉委員12人が施設見学に

福井市の和田地区福祉会の12人の福祉委員が7月25日、施設見学に來られました。福祉委員は、誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進役で、福祉のまちづくりを進めるボランティアさんです。

2班に分けてご案内し、感染対策で見学いただけなかった場所は画像で説明。老健施設での役割や短期入所・通所リハビリ・訪問リハビリの解説をしました。

福祉委員からは男性のレクリエーション活動の内容、利用料金など数々の質問がありました。後



歴史博物館講堂で開催しました。松島聡院長のあいさつで開会。プログラムは、松阪総合病院脳神経内科・加藤奈津子医師の「脳卒中・認知症予防のための心房細動マネージメント」と、明和病院脳神経内科・富本秀和特別顧問（現在、院長）の「もの忘れ

手元の画面でOK!
バーチャル病院見学

京都済生会病院

8月からホームページで、360°VRコンテンツ「バーチャル病院見学」を公開しました。コロナ禍で病院をご覧いただく機会がなくなっている現在、これから受診する患者さん、出



京都済生会病院
バーチャル病院見学
2022年8月1日、開始
REBORN
360°VRコンテンツ

産を控えたお母さんやご家族、就職希望者に、当院の診察室や病室、ホスピタルアートなど、京都済生会病院の雰囲気を知ってほしいと制作しました。

パソコンではマウス操作で、スマートフォンやタブレットではタッチ操作で、ぐるぐると見たい方向へ自由に画像を動かしてバーチャル見学していただけます。画面に出てくる「赤い指マーク」をクリックすると、その場所の詳しい説明と写真が表示されます。

どなたでも自由自在に病院見学できるので、ぜひご覧ください。京都済生会病院バーチャル病院見学は、こちらの二次元バーコードからどうぞ。



(済生記者 村瀬佳奈子)

〈兵庫〉ありのあんしん
すこやかセンター

高齢者の送迎支援を増倍
当センターを含む地域の五つの社会福祉法人が、昨年4月から高齢者の送迎支援を行なっています。毎週木曜、高齢者の集いの場



として藤原台地域福祉センターで、ふれあいのまちづくり協議会が主催する昼食会「木よう庵」。高齢の希望者はだれでも参加でき、体操・脳トレ・おしゃべりなど好きなことをして過ごします。ふじの里がこの集いの往路を、他の4法人が週替わりで復路を担当しています。

開始から1年経ったのを機に6月21日、送迎支援を行なう5法人、昼食会を運営するふれあいのまちづくり協議会、区役所、社会福祉協議会、地域包括支援センターの計20人で地域ケア会議を開催しました。

そして翌朝。お父さん・お母さんと離れて、お友だちや先生と一晩過ごした子どもたちの表情は達成感でいっぱい。親元を離れて自信をつけた子どもたちが、これからどんな成長をみせてくれるのか楽しみです。

(主幹保育教諭 住岡直美)

〈広島〉境港総合病院
山本看護部長をNHKが取材
第7波の現状を語る

8月1日、NHKが取材に訪れ、山本看護部長がインタビューに応えました。「新型コロナウイルスの感染が急拡大する中、県内でも特に感染者の多い県西部の医療体制を伝えたい。県の重点医療機関に指定されている貴院を取材させてほしい」



その中で「移動支援がなければこの事業は成り立たない。参加者が増えたら送迎を2台に増やせないか」と提案があり、増便が決定。高齢者が安心して集いの場に参加できる仕組みづくりが、一歩前進しました。

(看護師 谷掛陽子)

〈熊本〉しらかば子ども園
楽しみいっぱい
お泊り保育

年長児のらいおん組30人で8月5・6日にお泊り保育を実施しました。まずは江津湖で小魚やザリガニなどを捕まえて遊んでから、お泊りする立田山野外保育センター雑草の森へ向かいました。お昼ご飯は、保護者が作ってくれた大きなばくだんおにぎりでパワーチャージ。その後は、チャンバラごっこ・すいか割り・木工教室・まき割り・カレーの材料切りと、楽しいメニューが目白押し。「今日はお家に帰れない」「お母さんたちに会えない」なんて考える暇もないほどです。



とのことです。山本看護部長は次のように説明しました。

「第7波に入ってから、職員が陽性者・濃厚接触者となって出勤を制限され、働く人員が減少してきている。その中で発熱外来もコロナ病棟も患者が著しく増加し、職員のやりくりのため一般病床を一部閉鎖する事態となっている。通常診療にも影響がおよんでおり、まさに医療ひっ迫が現実的な状況です」

そして最後に「このような状況の中でも、当院は地域の中核病院として、可能な限り救急診療の受け入れができるよう協力したい」と決意を述べました。

(済生記者 坂本佑太)





当院は7月に、愛知県が主催する「再就業希望の看護職カムバック研修」の病院実習を実施し1人が参加しました。

**愛知県済生会
リハビリテーション病院
看護職カムバック研修**

ル・0.5度の単位で微調整が可能。患者さんごとに異なる膝関節の状態を専用カメラで評価し、ロボットアームが正確な骨切り位置へ導いてくれるのが特長です。

(済生記者 富永朋美)

研修終了間際に、渡辺有美病棟棟長が「即戦力の実力があるので、ぜひ当院へ就職してほしい」と、復職をお誘いしました。

(教育看護師長 小林美保)



7月15日に企画していた3年ぶりの新人職員歓迎会が、新型コロナウイルス感染症拡大で3日前に中止を余儀なくされました。プログラムはできるだけ簡素に、役員あいさつ・新人紹介・くじ引きだけで企画。乾杯はアルコール以外で、食事も閉会后に弁当を持ち帰ってもらうなど、万全の対策を講じていただいただけに非常に残念でした。

(新潟) 三条病院

**コロナで中止も、
笑顔の新人職員歓迎会**



分の弁当はキャンセルせず届けてもらい、職員に配布しました。

ここでひと工夫。弁当を入れた袋に、ランダムでくじ引きの景品Q.U.Oカードを「当たり」として封入。職員は真剣な眼差しで選び、当たった人は大喜び、外れた人も悔しさ交じりの笑顔で持ち帰っていました。

会場開催はかき氷でもありますが、工夫次第で楽しんでもらえると思えます。いっぴかりベンジをと考えています。

(互助会役員 治田貴大)



**〔福岡〕 飯塚嘉穂病院
病室を浴衣で回る夏祭り**

緩和ケア病棟で8月10日に夏祭りを開催しました。

浴衣姿のスタッフが、カートをかわいくデコレーションしてつくった夏祭り屋台を押しして病室を回ります。的当てゲームで盛り上がり、手作りのかき氷も振る舞って、盆踊りも披露。患者さんはかき氷をおいしそうに食べながら、盆踊りでは手拍子をして夏祭りを満喫しました。

患者さんにはこうして季節を感じながら、穏やかに過ごしていただきたいと思っています。

(済生記者 春口勇介)

**〔大阪〕 中津病院
花・動物・夏の写真を楽しむ**

中津病院ではこのほど「第44回文化*作品展」写真を楽しむ」を開催しました。

コロナ禍でこの2年自粛していましたが、今年は6・7・8月の3カ月にわたり、月替わりで展示作品を変える小規模イベントで実施。写真のテーマは「花」「動物」「夏の季節」の3つで、職員から約60作品の応募



がありました。

会場は密にならないように総合受付周辺のスペースとし、診察や会計待ちの患者さんにも見てくださいました。

主催の文化ボランティア委員会のメンバーは、みなさんにもっと楽しんでもらえるよう、秋には写真以外の作品展を計画中です。

(済生記者 鈴木亜希乃)

**福岡総合病院
手術支援ロボ「ロザニー」**

7月23日放送のKBC九州朝日放送「とつとも健康らんど」に、整形外科の水内秀城主任部



を切る角度や人工関節の設置位置などを人念に計画し、設計図に沿った正確な手技が必要で、当院では最先端手術支援ロボット ROSA Knee (ロザニー) で実施していると話しました。ロザニーは、0.5ミリメートル

長が出演し、当院の変形性膝関節症治療を紹介しました。水内主任部長は、代表的な治療法は人工膝関節置換術で、すり減った関節軟骨の表面を金属やポリエチレンでできた人工関節に入れ替えるものと説明。骨

「境港済生会病院の有難さ」と大きなエール

〈鳥取〉境港総合病院

境港市ことぶきクラブ連合会が6月末に発行した広報紙「ことぶき」で、当院の紹介記事がぎっしりと1ページを割き掲載されました。同連合会は、高齢者が生活や地域を豊かにする活動を行なう、会員数約2300人の自主組織です。

見出しは「境港済生会病院の有難さ」。ことぶきクラブの安田正志さんが20年前、急な腹痛で緊急入院・手術したこと、市中病院で軽快しなかった指の腱鞘炎治療で昨秋当院へ紹介された経験を述べ、後者では、名医の誉れ高い整形外科の先生と、充実した人員・設備のリハビリ部門に明るい展望を感じたと感謝。「治療を受けたものは識っている。済生会病院リハビリ部門の凄さや有難さを、元難病患者より」と色紙にしたため職員へ贈ったエピソードを紹介しています。

明治にさかのぼる済生会病院の起源も細やかに紹介し、締めくくりに「境港市や市民にとって大切なかけがえのない病院である」と、私たちへ力強いエールも贈ってくれました。

福井県済生会乳児院ではこの夏、野菜の皮むき体験や、トウモロコシの苗植え・収穫を行いました。子どもたちが食材そのものに触れ、五感を育む経験を特に大切にすることで、食育体験の一環で実施したものです。野菜の皮むきでは、先生がタマネギやニンジンでお手本を示すと、子どもたちはじゅっとなら後で思い思いにむいたりちぎったり。遊びの延長で楽しくする子、怖がって見ているだけの子など反応はさまざまです。

トウモロコシの収穫では、小さかった苗が大きくなっていてみなびっくり。皮をむき、実の感触を確かめてから丸かじりしてぶちぶち食感を味わいました。食材に触れて形や感触、重さや匂いを感じ、苦手な野菜にも親しみをもってもらえるよう、

福井県済生会乳児院
トウモロコシおおいね
磯邊佳恵



〈山口〉老健ひびき苑

「ハハハ」と免疫力アップ
入所者さん45人全員が2階ホールに集まり、6月29日に笑いヨガ教室を催しました。

「笑いヨガ」は誰でもできる健康法で、ヨガの呼吸と笑いの健康体操を組み合わせたもの。笑いには、免疫力アップやストレス軽減などさまざまな効果があるとされています。

この日は、手足を左右・上下に反対に動かす拮抗運動や、ゲームを交えた脳を刺激する運動を取り入れた「シナプソロジー」も実施しました。

「笑いヨガ」では、「ほっほ、ハハハ」「いいぞ、いいぞ、イエイ」という掛け声に合わせて動き、ホール全体に楽しい笑い声が響き渡りました。いつも以上の瞳や表情の輝きを見せて



今後も楽しい食育活動を行なっています。
〈済生記者 黒田 文〉

〈滋賀〉守山市民病院

第7波渦中のワクチン接種

地域住民を対象とした4回目の新型コロナウイルスワクチン接種を、7月26日と8月9日に1時間ずつ実施し、計154人が接種しました。

これまでに院内スタッフや地

域の医療従事者、一般市民の接種を重ねており、会場の設営や受付から接種までの流れもスムーズ。しかし今回はコロナ第7波の影響で出勤できないスタッフが続出し、予定外の人手不足が発生。急ぎよ、当初予定していなかった他部署のスタッフが応援に駆け付けました。

〈済生記者 中嶋元香〉



兵庫県病院
初の特定看護師、誕生

救急看護認定看護師の小野雅也看護師が9カ月間の研修を経て、6月30日に当院初の特定看護師（集中治療領域）となりました。

「医師不在で患者さんを待たせ



小野看護師は特定看護師を目指した理由をこう語ります。

特定行為を行なうために必要な手順書は、理解ある指導医の協力もあり、安全性・実用性を兼ね備えたものが完成。特定看護師となって1カ月が経過。小野看護師は主にPICC（腕から挿入する中心静脈カテーテル）の挿入処置を担っています。今後の目標は「多くの人に特定行為のメリットを感じてもらえるよう、実績をつくりながら、知識と技術を高めていくこと」と教えてくれました。

（済生記者 渡邊良子）

〔鳥取〕 境港総合病院

8月からAI問診スタート

業務効率および診療質の向上を目指しDX化に取り組み当院は、8月4日からAI問診を導入しています。

今までは、患者さんに紙の問診票へ症状などの基本情報を記入してもらった上で、専門的な質問は看護師が聞き取っていました。そして診察では、医師がそれらの内容を電子カルテに打ち込む時間も必要でした。AI問診ではこれらを集約



患者さんがタブレットに主訴を入力すると、AIが次の質問を自動生成して問診を進めます。問診内容は電子カルテに自動で反映され、再入力も不要です。

医師・看護師の事務作業が軽減され、これまで以上に患者さんの診療・看護が充実。接触も避けられるため、感染防止対策としても有効です。

（済生記者 坂本佑太）

〔佐賀〕 唐津病院

急変したコロナ患者を救う救急シミュレーション

「急変したコロナ患者に対して感染予防と迅速な急変対応を

医師や他部署スタッフを招集。PPE（个人防护具）の正しい着用をチェックし、蘇生・挿管固定までを行ないました。この間約14分と、スムーズに実施できました。一方、参加



行う」ための救急シミュレーションを6月24日、コロナ病棟で実施しました。当院は昨年9月、新型コロナウイルス重点医療機関に指定されています。訓練は、看護師が急変患者を発見し心肺蘇生を開始するところからスタート。別の看護師が急変を知らせるハリーコールで、



者から「PPEを着て胸骨圧迫を行なうと体力消耗が激しいので、短時間で交代すべき」「PPEの着脱方法は感染対策委員会と検討する必要がある」などの意見が出され、改善点と課題も明らかになりました。

（リーダー看護師 岩村優子）

〔山形〕 はやぶさ保育園

こんなにとれたよ！

4歳児クラス「べがさず」の24人は7月26日、みんなで春に植えたジャガイモを収穫しました。最初は「ほんとうにあるの？」と半信半疑で畑を見つめるみんな。少しずつ掘り進め、ジャガ

イモを次々と発見。「ここにもあった！ おっきい！」「こっちは赤ちゃんみたい」と大きさ比べを楽しみました。両腕いっぱい抱えきれないほど収穫できて大満足です。

次はトウモロコシの皮むきに挑戦！「すこしかたい」と苦戦しながら、友だちと協力しやり方を教え合って無事クリア給食で提供すると「わたしたちのトウモロコシだ！ おいしい♡」と満面の笑み。保育士も思わず笑顔になりました。

さまざまな食材に触れる機会を大切に、子どもたちの食材に対する興味や関心を少しでも多く引き出す食育活動を続けていきます。

（済生記者 黒田真美）

香川県済生会病院

杉田眼科部長が取材で回答 視力の低い子が増えた理由

当院眼科・杉田江妙子部長が7月、視力の低い子どもが増えている理由について、KSB瀬戸内海放送の「News Park KSB」とNHK高松放送局の「ゆう6かがわ」の取材で答えました。



「2021年度学校保健統計調査」によると、香川県では視力の低い子どもの割合が高まっていることが分かりました。特に、県内の幼稚園児の視力1・0未満の割合が過去最高の29・4%になったことに、眼科専門医としての見解を求められました。「近視は環境的な要因が大きい。コロナ禍で、スマホで動画を見るなど家の中で近くを見る時間が増えたのが影響しています。見る距離はなるべく30センチメートルは離して、30分見たら20秒以上は遠くを見るなど、気をつける必要があります」と説明しました。

（総務課 西山汐里）

topics



大作。青と黄の2色の折り鶴で「絆」の文字を表しています。災害用保存食は生徒がパッケージ

ジをデザインしたもの。商業高校なので授業の一環で販売することがあり、収益の半分で生理用品を購入し、経済的困窮者へ支援しているといえます。中島院長は「当院は地域の災害拠点病院であり、ぜひ災害時に利用していきたい」とお礼を述べま



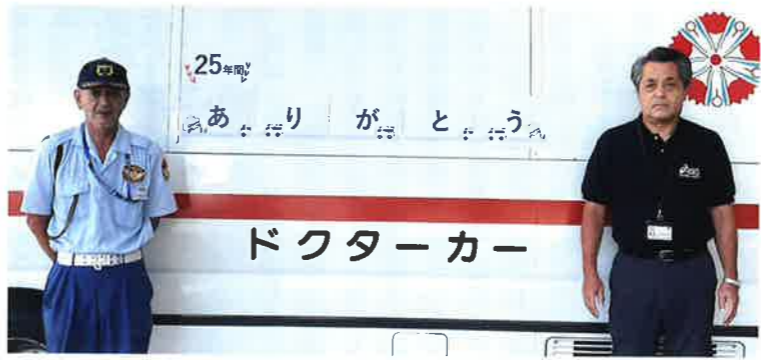
〈山形〉特養愛日荘 仮想通過も登場 夏祭りでもれ買う?

コロナ禍の暗い雰囲気吹き飛ばそうと、7月29日に愛日荘夏祭りを開催しました。
山形名物のどんどん焼き・玉こんにやく(寒天風)に、綿あ

め・かき氷・鈴カステラなどが出店。遊び屋台の射的や金魚すくいも大盛況でした。
今年は、普段買えない物ができない利用者さんに、買い物の楽しさを味わってもらおうと、当日のみ使用可能な仮想通貨「愛日縁(円)」を用意。「本当に買い物してみたい」「どれ買おうか

迷う」と大変好評でした。
昨年同様の屋内開催となりましたが、みなさんに喜んでいただけよかったです。早くコロナが収束し、ご家族や地域のみなさんと一緒に夏祭りができる日を心待ちにしています。
(介護職員 渡辺敦志)

静岡済生会総合病院 25周年ありがとう



静岡済生会総合病院で25周年

使用し、老朽化が進んだドクターカーを7月29日、業者に引き渡しました。
このドクターカーは1997年に導入。地域周産期母子医療センターの当院は、主に新生児や妊婦の搬送に使用してきました。2011年の東日本大震災の時にはDMAT隊員を乗せ、東北へも出動した車両です。たくさんの方の命を救うため、四半世紀にわたって走り続けたドクターカー。愛着はありますが、耐用年数を迎えて買い替えが避けられません。
25周年、本当にありがとうございます。その気持ちを込めて見送りしました。
(企画・広報課 酒井あい)

〈奈良〉中和病院 千羽鶴が織りなす「絆」

奈良県立商業高等学校2年生のみなさんから、コロナと闘う医療従事者へのエールとして、折り鶴で作ったタペストリーと災害用保存食(12個入り2箱)が寄贈され、7月11日に贈呈式を催しました。
タペストリーは幅160センチ・長さ150センチの

した。

職員は「タペストリーの大きさに、高校生の努力と思いを感じる」「たくさんの方のつなごりて絆を表現しているのがすごい」と感嘆。新型コロナウイルス第7波の只中で、たくさんの方の鶴が運んでくれた高校生の思いが職員を和ませてくれました。
(済生記者 窪田里奈)

〈神奈川〉横浜金沢医療福祉センター 旧施設を活用した 消防実地訓練

特養わかくさが2年前まで使っていた旧建物で8月8日から



16日まで、横浜市消防局金沢消防署が消防(レスキュー)訓練を実施しました。
実際の建物を使った訓練は大変貴重な機会とのこと。当センターの周辺地域を担当する金沢消防派出所や、能見台消防派出所の隊員が訓練に参加しました。金属製の扉にカッターで穴を開ける訓練や、2階で動けなくなった人を屋外からはしごをかけて救出する大掛かりな訓練に、隊員は汗を流しました。
連日30度を超える猛暑の中、防火服に身を包み、大きな掛け声でときはきと訓練をこなす様子は迫力満点。市民の安全を守る強い使命感を感じ、大変心強く思いました。
(済生記者 高木裕子)

〈鳥取〉境港総合病院 新型コロナウイルス重点医療機関 病院長会議に院長が出席

鳥取県の新型コロナウイルス感染症重点医療機関と入院協力医療機関の病院長が一堂に会するWeb会議が8月18日に開催され、重点医療機関の当院は佐々木祐一郎病院長が参加しました。



の新規患者の円滑な入院受け入れを可能にするには、症状が軽快した患者の転院先として後方支援の病院や施設の連携強化が重要である」と指摘。そして「各機関が協力して患者受け入れ体制を強化していく必要がある」と提言しました。
(済生記者 坂本佑太)

会議に先立つあいさつで、平井伸治知事が「緊急性の高い患者を必ず受け入れることができよう、救急要請即応病床を確保して受診調整・入院調整を速やかに行ない、救える命を救う体制の強化を」と要望しました。これを受け、当院の佐々木祐一郎病院長は「重点医療機関で

〈三重〉明和病院
思いやりってなんだろう

新人看護職員を対象に6月22日、思いやりコミュニケーション研修を行いました。看護部の理念「私たちは優しく誠実な看護を提供します」を浸透させるのが目的です。

研修生はまず「患者にとっての思いやりとは」をグループワークで共有。「相手の意向に沿うこと」「その人にとってうれ



しいと感じることは何かを考え実行すること」などの意見が見られました。

次に、「左利きで左片麻痺の患者さんをトイレ介助する事例」に対する思いやりの看護のイメージを、グループごとに模造紙にまとめ発表しました。「排泄パターンを事前に把握して声をかける」「ナースコールがつねに右にあるかを、訪室するたびに意識する」と考えた新人看護師たち。思いやりの看護を具現化し、行動レベルまで落とし込むことができました。

(教育担当部長 間柄愛子)

〈北海道〉北海道支部
七夕に350人が願う

済生会ビレッジでは去年に続き、道内の多くの地域で七夕行事を行なう8月7日、七夕まつりを行いました。

たくさんの方の市民に願いを書いてもらおうと100枚の短冊を用意。あつという間に品切れとなる盛況で、願い事を書きに来た女子高生2人組に「すぐ用意します」といい、筆者はあわてて買い出しに行きました。

最終的には、事務所で短冊を自作し追加。昨年並みの350人の願いが飾られました。



コミュニティの在り方はいろいろ。こうしてきつかけを用意すればそこには集まります。みんなの願いが叶いますように。

(北海道済生会 清水雅成)

福井県済生会病院

小倉智明さんが特別講演
優しいがん診療の市民講座

当院の集学的がん診療センターは7月30日、市民講座「患者さんに優しいがん診療」を福井県民ホールで開催しました。一般向けにはオンラインで配信し、約100人が参加。職員

および関係者約30人は会場で聴講しました。

この日は、膀胱がんに罹患し、現在も肺転移の治療を続けるフリーアナウンサーの小倉智明さんが特別講演で登壇し、登谷大修理院長と対談しました。「長年糖尿病を患い、毎日健康状態を書いていたことが膀胱がんの発見につながった。メモ程度でいいから、自分の体のこと



を記録しておくと後で役に立つ」と小倉さん。

登谷院長は「小倉さんは意志の強い人、前向きに病氣と向き合っている。これから医療者はいろんな多様性を持ちながら患者さんを導くことが必要と学んだ」と述べました。

(済生記者 吉川千恵)

福岡総合病院
ハイブリッド手術室を増設

循環器疾患に対する新規デバイス治療の症例増加に対応するため8月、2室目のハイブリッド手術室を増設。患者さんの待機時間を短縮し、最適なタイミングで治療できる体制が整いました。

当院では、大動脈弁狭窄症



に対する「AVI治療をはじめ、心房細動に対する左心耳閉鎖デバイス WATCHMAN」、重症心不全に対する補助循環用ポンプカテーテル IMPELLA など、新規デバイスを用いた心血管疾患治療をチーム一丸で幅広く取り組んでいます。

手術室完成を記念し、このほど西日本新聞朝刊に一面広告を掲載。紙面には、より一層「救急医療」「高度専門医療」に注力していく当院の思いと、「このまちの濟い」であり続けるよう、地域とともに成長できる病院づくりを目指していく思いを込めました。

静岡市中心身障害者
ケアセンター

3施設合同で食中毒研修

7月28日に食中毒研修を実施しました。

これは令和3年度障害福祉サービス等報酬改定で義務づけられた、感染症防止のための取り組みの一環です。近隣にある済生会施設の静岡市中心身障害児福祉センターいこいの家、就労継続支援B型事業所ワーク春日



の職員も含め総勢30人が参加しました。

講師は、当センターといこいの家を兼任する岡本香菜菜養士。食中毒が起こりやすい時期や原因、食中毒予防の三原則（原因となる細菌を）つけない・ふやさない・やっつける」を学びました。特に「パーベキューなどで生焼けの肉を食べるのが一番怖い」の話が印象的でした。

今後さまざまなテーマで職員研修を予定していますが、できるだけ近隣の済生会施設と合同で開催し、知識を共有していきたいと考えています。

(済生記者 岡本竜馬)

〈埼玉〉川口総合病院
高校生が看護体験

恒例のふれあい看護体験を7月26日と8月2日の2回実施し、それぞれ高校生6人が参加しました。

当院の看護師ユニホームに着替えた高校生は、病棟見学、車



いすやストレッチャーでの乗・搬送、さらに一次救命処置のBLSを体験。AED（訓練用）にも初挑戦しました。その後は、看護部長や先輩看護師の心に残る看護体験談に、真剣に耳を傾けました。

「現場の空気をリアルに感じる事ができてよかった」「将来は患者さんに寄り添える看護師になりたいという気持ちだが、さらに強くなった」と感想を述べる高校生たち。コロナ禍で看護師を目指し、積極的に歩む姿をとて頼もしく感じました。未来を支えるすてきな看護師に、きつとなつてくれます。

（済生記者 原 衣里奈）

奈良病院

高齢者の排尿を考える

「高齢者の正しい排尿を考える」がテーマの排尿勉強会を7月20日、当院小会議室で開催しました。

講師は、こんどう泌尿器科・

内科クリニック（奈良市）の近藤秀明院長。日頃から親交のある居宅介護支援事業所の皆さんにも多数参加いただき、水分摂取と排泄の関係について一緒に考えました。講義後は普段疑問に感じていること、悩んでいることなどが活発に飛び交い、活気あふれる勉強会となりました。

排泄の悩みを抱える高齢者は多く、私たち介護支援専門員も相談を受けることがよくありま

「第47回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ」を7月30・31日に、大阪・クロスウェーブ梅田で3年ぶりに対面形式で開催しました。

〈愛媛〉今治病院

3年ぶりの対面開催で
臨床研修指導医1365人に

「第47回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ」を7月30・31日に、大阪・クロスウェーブ梅田で3年ぶりに対面形式で開催しました。

す。そんな時は気軽に泌尿器科医へ相談するよう提案していただく——そう感じさせてくれた勉強会でした。

（ケアプランセンター）すずらん所長 神田麻理子



今治病院が担当した今回は全国の医師27人が受講、全員に厚生労働省医政局長名の修了証書を渡しました。本会は2006年から継続開催しており、今回を含め1365人の指導医を輩出しています。withコロナ初の対面式開催とあつて、感染症対策は必



須。換気・検温・手指消毒はもちろん、親睦を深める情報交流会は飲食なしの短時間で行ないました。講義はeラーニングによる事前学習を導入し、一部オンラインを取り入れるなど今までにない様式で実施しました。運営担当として不安もありま



小学生の遠泳をサポート

鹿児島病院

久保園孝明院長が学校医を務める小学校の水泳同好会が8月4日、錦江湾（鹿児島湾）横断遠泳を敢行。久保園院長は遠泳前に全員の健康チェックをし、救助船に乗り込んで見守りました。

したが、8人のタスクフォースの先生方をはじめ多くのサポートを得て無事完走。本会の隠れた目的「病院間の横のつながりを作る」こともできたのではないかとホッとしています。

（臨床研修センター）秋山理恵子

オンラインで会いましょう
9月に健康フェア

福岡総合病院

（済生記者 竹中康代）

鹿児島では7月24日夜に桜島で爆発的噴火が発生したばかりで、コロナの感染拡大も続いています。そんな不安な状況でしたが、参加者にコロナ感染はなく、遠泳の出発地点が噴火口から離れていることもあり、遠泳は予定通り決行。好天に恵まれ、4・5・6年生約50人全員が、桜島の西岸・小池海岸から鹿児島市街地近くの磯海水浴場までの4・2キロメートルを泳ぎ切りました。



し緊張しながら、医療知識のない市民のみなさんにわかりやすく丁寧に語りかけます。

目指すは、子どもから高齢者まで家庭で楽しめるコンテンツ。健康フェアを通して、病気や健康、救命に関する知識を深めていただけたらと願っています。アンケートの回答者に先着順でお届けするノベルティグッズも準備中です。



（済生記者 富永朋実）

救命と健康に関するイベント「済生会健康フェア2022」を、昨年に続き今年も9月初旬からオンラインで開催します。がんや脂肪肝など病気に関する話や、がん検診の啓発、救命処置の方法などを、医師や医療スタッフが動画で説明します。管理栄養士は、がん予防のための食事の摂り方や食事療法についてお話しします。

現在、その動画制作の真っ最中。カメラを前にした演者は少

topics

ボランティア交流会が地元紙に載りました

ボランティア交流会の記事が、



〈埼玉〉特養彩光苑

体験後の高校生は、「貴重な体験ができてうれしかった」「看護師になりたい気持ちが強まりました」と感激した様子。この体験を通して、看護に対する興味をより深めてもらえたと思います。私たちスタッフも、自身が看護師を目指していたあのころの気持ちを思い出し、初心にかえることができました。

(済生記者 坂本千晶)



〈愛媛〉松山老健にきたつ苑 新しい顔でお迎えします

今年5月、創立30周年の節目を迎えたきたつ苑は、新しい玄関ホールで来苑者をお迎えしています。

「施設の顔にふさわしいアットホームな安心空間の創造」が新玄関ホールのコンセプト。開放的で見渡しやすい、落ち着いて話せる空間を目指し、相談室と事務室のスタッフが協議。デザインや建築家とアイデアを出し合って作り上げました。色合いを変えられるLED照明を採用し、季節感も演出できます。こうした工夫のかいあって、

相談室・事務室のある玄関ホールは昨年11月、利用者さんも職員も、誰もが「入りやすい・話しやすい・待たせない」空間に生まれ変わりました。来苑者からも「雰囲気がよくなったね」とうれしい言葉をたくさんいただいでいて、職員は笑顔満開です。

(事務所 竹縄瑠美)

3年ぶりの花火観覧会

三条夏祭りの大花火大会を8



「春日部ファミリー新聞」8月11日号に掲載されました。

交流会は7月21日に苑内会議室で開催。ボランティア団体の代表者・個人ボランティア計34人が参加し、コロナ禍の施設内ボランティア活動のあり方について意見交換しました。

記事では、田島襄所長が「皆様の活動を制限していた間、施設内の感染者は出ていない。ウィズコロナの中で、感染リスクが少ない活動から早期に再開したい」と述べたことを紹介。そして「早くコロナ感染が収束し活動を再開したい」「必要に応じた練習や準備を欠かさず行っている」など、ボランティアさんの熱い思いも記されています。地元紙を通し、市民に当苑の取り組みやボランティア活動に興味をもっていただく機会となれば幸いです。

(済生記者 足立むつみ)



う願っています。

(済生記者 西川まゆみ)

〈大阪〉野江病院 高校生のふれあい看護体験

野江病院は7月25日、大阪府看護協会が実施する「ふれあい看護体験」に協力し、看護に興味のある高校生4人を受け入れました。施設見学や看護体験を通して交流し、看護職について知ってもらおうイベントです。

当院の看護師ユニホームに着替えた4人は、病棟で看護師の仕事をつぶさに見学。採血や洗髪、赤ちゃんの沐浴の様子、患者さんとスタッフの触れ合いを、とてもいきいきとした表情で見つめていました。

〈山形 養護(盲)老人ホーム 山静寿 暑気払いのビアパーティー

1階食堂で7月28日にビアパーティーを行いました。

連日猛暑が続く中、暑気払いをしていただくとうと職員が企画し、参加いただく時間をずらすなどの工夫をしました。

この日は気温が30℃を超え、冷たい飲み物をおいしく感じる天候でした。枝豆・フランクフルト・ナッツなどをさかんに、冷たいビールやジュースでのごちそうを潤しました。

久しぶりのカラオケも大盛り

上がり。入所者さんは「おいしかった」「楽しかった」と、暑さも吹き飛ばす楽しいひとときを過ごしました。

(済生記者 丹 秀樹)



〔三重〕 松阪総合病院

高校の要望で3年ぶりに
オープンホスピタルを開催

オープンホスピタルを8月8日に開催し、県内4高校の1・2年生16人と担当教諭が参加しました。「コロナ禍でも現場の声を直接聞きたい」と、進路指導の先生から要望され、3年ぶりの実施です。



森本政司副院長の開会あいさつに続き、感染管理認定看護師の西川有子さんが、フェイスシールド・粉塵マスクの着け方、手指消毒を指導。その後は「医療事務・公認心理師・リハビリテーション課」「管理栄養士・臨床検査技師」「医師・薬剤師」「看護師・歯科衛生士」のグループ単位に職種紹介動画を上映し、相談会を行いました。最後に鶴森立美看護部長の閉会あいさつで閉めました。

空き時間には個別相談も受けるなど、参加した生徒の熱心な姿が印象に残りました。

(総務課 岩崎貴穂)

福岡総合病院

4K・3Dの高精細映像
手術用顕微鏡システム導入

福岡総合病院はこのたび、4K・3Dビデオ技術搭載の手術用顕微鏡システムORBEYO(オーブアイ)を導入しました。オーブアイは、神経や血管などを処置する際に患部を拡大し立体的に見る装置。4K・3Dの高精細デジタル映像で、組織や血管の微細な構造を高精細かつ立体的に観察でき、脳神経外

科などの緻密な手術に適しています。

大型モニターを見ながら楽な姿勢で手術にわたる手術でも術者の疲労は軽減。手術助手や麻酔科医、看護師も同一画像を観察できるので、チームの情報共有や教育効果も期待できます。

患者さんも無理の少ない術中体位が可能で、術後の負担も軽減してくれます。

(済生記者 富永朋恵)



〈山形〉特養ながまち荘
中華の出前をとろう！

真夏の7月26日、20人ほどの

入居者さんの希望で、中華の出前を頼みました。

きっかけは、食事があまり摂れていない人の「餃子が食べたかった」との一言。どうせなら本格的な餃子を食べようと、職員が中華の出前を提案しました。

暑い時季だけに冷やし中華が

一番人気。いつもの給食ではなかなかお目にかからない料理を前に「うわぁーおいしそう！」と笑顔がはじけます。暑い日が続き食事の量が減っていた人も「冷たくておいしいなあ」と、いつも以上に箸が進みます。

餃子を食べたいと言った入居者さんは嚥下機能が低下しているため、栄養士がミキサーにかけて提供。希望がかない「うん、おいしい！」と喜んでいただけました。

自分で選んだ好きな物を食べられるって楽しいですね。また味わってもらえるよう企画したいと思います。

(介護職員 東海林詩織)

このプログラム導入後はせん妄状態を早期アセスメントできるように、点滴自己除去やその防止のためのミトン装着などの抑制が減少しています。

研修生は「現場ですぐに役立つられる」と述べています。患者さんが安全・安心に治療を受けられるように、今後も研修を継続していきます。

(済生記者 下村桂子)



〈山口〉下関総合病院
せん妄対策を毎月研修中

下関総合病院看護部では毎月せん妄の予防・治療対応プログラム「デルタ(Delirium Team Approach)」プログラム研修」を行なっています。

7月21日の研修では、せん妄患者との関わりをロールプレイしました。1グループ3人で、看護師役・せん妄患者役・オペレーター役を一事例ずつ交代し



〈大阪〉泉尾特養第二大正園
新ユニホームで気分一新

第二大正園では7年ほど使用した職員ユニホームを7月1日に一新しました。

パープル地に青のバイピングと、ベージュ地にピンクのバイピングをした2種類を用意。長年着用してきた職員に改善点の意見を募り、「機能性や伸縮性を重視した服がいい」などの要望も反映した結果が、この新ユニホームです。

初日は、利用者さんから「か



っこいいね」「似合ってるよ」と声をかけられ、職員は照れ笑い。最初の1週間ほどはパープルとベージュの見慣れない姿の職員同士で、「こっちの色のほ

うが似合うね」などとやり取りする様子も見られました。「前のユニホームはシャツがブルー一色しかなかったけど、今回二色から選べるようになって、その日の気分で決められるのうれしい」との声も。

評判は上々で、職員のやる気アップにつながっています。

(済生記者 黒木洋輔)

〈山形〉特養ながまち荘
夏はスイカと花笠踊りだね

長期入所と短期入所に分かれ規模を縮小したミニ夏祭りを7月20日に開催しました。

この日のために職員は、山形の文化・花笠踊りを練習し、ながまち荘のロゴ入り法被を羽織って披露。花笠音頭が流れると一斉に歓声が上がリ、会場は大きな拍手で包まれ、アンコールまでいたたく大盛り上がりでした。「カッコイイね」「似合う」と、利用者さんからお褒めの言葉もいただきました。

踊りの後は、尾花沢スイカが登場。「あなたの顔より大きいじゃない」とみなさん笑顔です。種をお皿へ上手に出しながら「甘くておいしい」「もう一



個！」とこちらも大盛況。用意したスイカはあっという間に品切れになりました。

(介護職員 佐藤郁恵)

〈栃木〉宇都宮病院
コロナ後の医療介護連携

宇都宮病院は7月30日、宇都宮市医療・介護連携支援ステーション運営業務委託事業の「ネットワーク研修」を開催し、地域の医療・介護関係者75人がオンラインで参加しました。

今回は、当院救命救急センターの小倉崇以センター長が「ボ

ストコロナにおける医療・介護連携」について講演。「ポストコロナを見据え、地域の実情に応じた強靱な医療提供体制を確保するためには、人材育成がカギ。県民の健康を守る体制を平時から備えていくことが重要」と説きました。

講演後は、質疑応答を含めた意見交換会を開催。「医療の枠にとらわれず、地域社会全体を良くしていく」という視点で語る小倉先生の、考え方や視野の



広さ、姿勢に感銘を受けた。「医療者・介護関係者・行政が連携しながら、それぞれに何ができるかを考えていくことが大切だと再認識した」などの感想を聞



き、盛況のうちに閉会しました。

(地域連携課 秋山綾香)

発熱外来、受診者増に秘策

〈熊本〉みすみ病院

みすみ病院では、7月19日から発熱外来の軽症者検査は予約制とし、予約数に上限を設けました。7月に入

って、発熱外来への問い合わせも受診者も急増し、職員も家族や本人が感染し欠員が生じている中で、一般外来にも影響を及ぼしかねなくな

来院時間を集約化する予約制への移行に併せ、ドライブスルー方式で行なう同外来の車の誘導を事務職員が交代で実施し、診療はスムーズです。主に外来看護師が行なっていた「新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HIER-SYS)」の入力も、事務職員が代行。AI問診を活用して、症状や既往歴など入力に必要な情報を漏れなく聞き取ることで、容易に入力できています。

予約制に切り替えるまでの間は、危機的な状況であわただし

(済生記者 船橋麻紀)

熊本福祉センター
新人もベテランも学ぶ

熊本福祉センターは7月12日、新卒1・2年目の職員を対象にフレッシュマン研修を開催しました。

講師は、社会保険労務士法人ブレインスターの田木さと子さん。社会人としての心得や職場のマナーについて講義いただいた後、グループに分かれ意見交



換・発表などを行ないました。同月中には4日に分けて、ハラスメント研修も行ない、管理職67人・一般職員17人が受講しました。講師は同じくブレインスターの塚塚雅勝さんと田木さと子さん。ハラスメントに関する法体系や具体的な事例について、特にパワーハラを中心に教えていただきました。

パワーハラなどのハラスメントのない職場を目指す中で、センターの職員みんなで共通理解するよい機会となりました。

(総務室室長 熊谷 誠)

載々

済生会の職員が寄稿した記事が、掲載された雑誌等を紹介しします

専門医試験対策 「究極の100問」

京都済生会病院 中島診療部長
京都済生会病院の中島智樹診療部長が執筆した「試験のあとに残しておきたい」「新」内科専門医・総合内

科専門医試験対策問題集」（中外医学社）が発刊された。

肝臓内科医・消化器内科医としてキャリアを積んできた中島診療部長。専門分野である肝疾患の診療を通じて、一般内科的知識や幅広い内科

疾患の診療、他の医師との併診など多くを経験。その知見を生かし、実際の症例を専門医試験の問題と解答・解説にアレンジした。「試験の傾向」「その他に出題される可能性のある項目」も分析し、試験直前の確認にも最適である。

作問した「究極の100問（1000症例）」には、診療現場で実際にどう対応したのかや、その後の経過など



も盛り込んでいて、試験のあとにも臨床現場で役立つ一冊である。
（企画広報室長 松岡志穂）

大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも。ご報告ください

オッショイ！ オイサー！

博多の夏の風物詩・博多祇園山笠が3年ぶりに開催されました。7月に入ると、15日のフィナーレ「追い山」まで、博多のまちは山笠一色に染まります。13日には福岡市役所で、七つの山笠が一堂に会する「集団山見せ」が行なわれました。

すぐ近くの当院の目の前



多つ子の熱い思いと熱気に包まれました。
（福岡総合病院 済生記者 富永朋美）

★立派な山笠、圧巻です！写真からも熱気を感じます。来年は福岡に行ってみてみたいなあ〜！
（メディカル・リーフ 平山果奈）

カルガモ救出大作戦

8月4日の朝、乳児院前の排水溝で右往左往するカルガモを職員が発



でレスキュー隊が出動してくれ、ひな鳥が逃げ出さないように、排水溝の上流と下流を職員が見張る中、3人の隊員が中に

ガモはそこに宇都宮乳児院があると分かっていて子育てしているのかな。（本部広報室 河内淳史）

誌面から飛び出しちゃった！

今春発行の「済生会の力第16集 食べることは、治すこと。」は、全国の済生会の管理栄養士の活躍が生き生きと伝わる一冊です。

その中の「地産地消ご当地ごはんMAP」では、当院の「あんかけ薬膳焼きそば」を含む六つのご当地メニューを掲載。どれもおいしそうで、誌面紹介だけでももったいないと、栄養指導用フードモデルの会社に依頼し、食品サンプルを作りました！

6月25日の済生会ウエルネスフェア（主催・北海道済生会支部）で披露目。小樽市民のみなさんに、済生会は全国に病院があり、それぞれに工夫を凝らした病院食が提供されていると案内しました。「こんな料理が食べられたらうれしいね」とたくさんの方の反響が。その声にお応えすべく、当院の病院食で提供したいなど企画中です。

レシピや写真を提供いただいた、宇都宮病院、金沢病院、岡山済生会総合病院、豊浦病院、みすみ病院の管理栄養士のみなさん、ご協力ありがとうございました。一冊の本をきっかけに、済生会の輪が広がった



★街中は危険でいっぱい。でも、親（栃木・宇都宮乳児院 済生記者 大久保彰子）



と感じます。これからも済生会の管理栄養士のみなさんと、もっとつながっていきたいです！
（北海道・小樽病院 栄養管理室 多田梨保）

★食品サンプルおいしそう！私も担当したページがこのように広がっていくのはとてもうれしいです！
（メディカル・リーフ 平山果奈）

サルとの共生できるかな

山口市小郡地区では7月、住民が相次いでサルに襲われ、延べ60人以上が被害を受けたと全国ニュースにもなりました。

当センターは同地区から10キロメートルほど離れていますが、裏手には山があり、たまにサルと遭遇することもあります。8月8日の早朝

も、職員が敷地内の芝生で一匹の野生サル（子サル？）を目撃しました。この時は幸いに、威嚇されただけで、襲われるような被害は受けずに済みました。ソーシャルインクルージョンは人間だけの話ではなく、野生動物と人間が共生できるような対策も急がれるなあと感じる、今日このごろです。
（山口地域ケアセンター 済生記者 楊 玉華）

★サルが山から下りてくるのは食事のためと聞いたことがあります。この子もおながが空いていたのかな？
（メディカル・リーフ 平山果奈）



落ちたツバメも巣立ったよ！
7月上旬、今年もツバメが帰ってきました。
昨年初めて玄関前の柱に巣を作



この木なんの木アゲハの木
わが家には「ナツの柑橘系の木」があります。娘が保育園から持ち帰った種からプランターで1メートルほどに成長し、葉の形や香りから柑橘系と推察しているものです。

★小遣い欲しさに近付いてくる息子たちを追い払うプローチがあればいいなあ。
(本部広報室 河内淳史)

どんなレシビを教わるのかな？
(メデイカル・リーフ 原澤一也)

究極の虫刺され対策？!
お盆休み、家でごろごろネットサーフィンしていたら、気になる記事を発見しました。
「オニヤンマそっくりのブローチを帽子や服につけると、オニヤンマが主食とするハエや蚊が近付いてこなくなる！ 市販されていて話題沸騰」とのこと。
これは朗報。さらに調べると、作り方もネットに載っています。毎年

も戻ってきてほしいです。
(愛媛・今治老健希望の園 済生記者 伊藤君香)

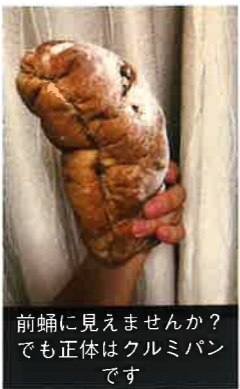
★九死に一生を得たそのツバメたち、希望の園ではなく、育ててくれた職員のご自宅に戻ってきそうな気がします。
(本部広報室長 山内 敦)

こがえる寺に行ってきました
先日、仕事の帰りがけに飯塚市にある正法寺に行ってきました。
このお寺は、カエルの置物などをたくさん飾っており、「こがえる寺」と呼ばれています。カエル好きの私には癒やしのスポットの一つです。福岡県内では、小都市にある如意輪寺が「かえる寺」として有名。その如意輪寺の住職の息子さんが、な

蚊に刺されまくる小学1年生の娘を守るため、すぐに材料をそろえ、「オニヤンマのブローチ」を娘と手作りしました。
虫除けスプレーと違い、何度も繰り返し使えて地球にも優しい、なんてエコなんでしょう。ワクワクしながら早速、娘の帽子に自作のオニヤンマブローチをつけて、その日の夕方に緑生い茂る近所の公園へ。
結果、蚊には刺され……ましたが、現場からは以上です。
(埼玉・川口総合病院 済生記者 原 衣里奈)



この木にアゲハチョウが産卵に来ます。最初は娘が小3の夏で、今年で3年目。飼育した青虫は50匹を超えました。娘は「イモイモ元気？」と朝から飼育ケースやプランターへ。夫がケースの掃除などを、私は写真を撮ったり、前蛹（青虫がさなぎに変わる直前の姿）に似たパンを



前蛹に見えませんか？でも正体はクルミパンです

アゲハチョウは卵から成虫になり、飛ぶ羽化率が0・6%ほどと低く、健気さや神秘性に魅力を感じます。わが家でも5カ月かけ越冬した蛹が羽化時に足場から落ち、羽を広げら

次号予告
済生 No.1120 [令和4年10月号]

- 済生会の不易流行論 (169) 炭谷 茂
NEWSな済生人 この人 高橋克実
済生会交差点
口福にっぽん (61) 柿寿楽 (長野県飯田市)
てづくりおもちゃ いまいみさ

広告索引

(株)日立システムズ
表紙見返し [表紙2]



まうとの情報もあり、本当はいけないのですが、職員が自宅に連れ帰りました。
自分で餌を食べることができないヒナに、数時間おきに生きたミミズなどを食べさせました。少し大きくなると、ヒナが自分で餌が取れるよう動く虫を近くに置くなど献身的にお世話をし、無事育って巣立つことができました。これに懲りず、来年



んと、ここ飯塚市のこがえる寺の住職！まさに「親子かえる寺」なんです。
みなさんも福岡に来て、「かえる寺」と「こがえる寺」で癒やされてみませんか。
(福岡・飯塚嘉穂病院 済生記者 春口勇介)

★春口さんの「カエル記事」は、これで三度目？ なんでカエル好きになったのか気になります。
(メデイカル・リーフ 原澤一也)

コロッケとシソジュース
仕事から帰ってテレビを見ていると、突然メールの着信音。ベトナム人技能実習生のフォンさんからの画像付きメールで「これは初めて日本の料理を作った。でも成功しまし



た。ビックリした。明日持つてきます。食べられませんか。
翌日、朝一番でジャガイモのコロッケとシソジュースが届きました。コロッケは近所のおばあさんに教えてもらったレシビを参考に作ったもので、シソジュースはベトナム流で、日本のものとは少し違った味付けとのこと。自宅に持ち帰り晩ご飯にいただく、コロッケもシソジュースも、なかなかの出来栄でした。
はまな荘の技能実習生は草取りなどの地域行事へも積極的に参加し、住民のみなさんとのふれあいを大事にしています。とてもかわいがられていて、国際交流にもなっています。
(広島・老健はまな荘 済生記者 佐藤 聡)



た。ビックリした。明日持つてきます。食べられませんか。
翌日、朝一番でジャガイモのコロッケとシソジュースが届きました。コロッケは近所のおばあさんに教えてもらったレシビを参考に作ったもので、シソジュースはベトナム流で、日本のものとは少し違った味付けとのこと。自宅に持ち帰り晩ご飯にいただく、コロッケもシソジュースも、なかなかの出来栄でした。
はまな荘の技能実習生は草取りなどの地域行事へも積極的に参加し、住民のみなさんとのふれあいを大事にしています。とてもかわいがられていて、国際交流にもなっています。
(広島・老健はまな荘 済生記者 佐藤 聡)

think!

sync!



知る・見つける・支える

ソーシャル インクルージョン

Social Inclusion **シンク!**

はじめまして、シンク!です。

済生会が推進するソーシャルインクルージョンを、
多くの人々に知ってもらうためのウェブメディアができました。

サイト名は「知る・見つける・支える ソーシャルインクルージョン」。
愛称の「シンク!」は、social inclusionから名付けました。
think (思いを巡らせる)、sync (共感する、シンクロする) という意味も込めています。

済生会内外のさまざまな活動の記事を通して、ソーシャルインクルージョンの
実現を目指す人々の思いを知り、共感し、そして仲間になってほしい。

それがシンク!の思いです。

知る・見つける・支える

ソーシャル インクルージョン

Social Inclusion **シンク!**

<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/>



笑顔が何よりのお薬でした
7月、家族全員にコロナの症状が。発熱外来で数カ所断られ、受けてくださったのが済生会習志野病院さん。「大丈夫ですよ。いらしてください」の一言にホッとしました。車の中の検査後、「残念ですが、三人とも陽性です」と笑顔でやさしく言ってくださったので、深刻になりかけていた家族も「これだけ流れていけばしょうがないね」という気持ちにすっと切り替えられました。その後自宅での療養生活に。大変

お忙しい中で気も立っておられるだろうに、私たち患者のことまで考えてくださったことに涙が出ました。済生会習志野病院のみなさま、本当にありがとうございます。これからも元気で書かせていただきます。「口福につぼん」執筆 吉井省一

お詫び 8月号・トピックスで紹介した〈岡山〉特養みなみがた荘のフンさんは「技能実習生」ではなく「特定技能で来日している外国人」の誤りでした。お詫びして訂正します。



れず飛べなかったこともあり。そんな悲しいことも楽しいことも娘にとって大切な学び。いつか「謎の木」に実が付き、長年の謎が解けることを期待しつつ、アゲハチョウ

と一緒に大事に育てています。(神奈川県・湘南平塚病院 済生記者 川崎菜美) ★娘さんの表情、最高!! (メデイカル・リーフ 原澤一也)



済生会

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施療救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日財団法人済生会を創立した。

以来今日まで111年、社会経済情勢の変化に伴い、存続の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施療救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人財団法人済生会となっている。

済生

[令和4年9月号]
THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和4年9月10日発行
通巻第1119号 (第98巻第9号)

編集兼 炭谷 茂
発行所 社会福祉法人 済生会
〒108-0073
東京都港区三田1-4-28
三田国際ビルディング21階
TEL: 03-3454-3311 (代)
FAX: 03-3454-5576
印刷所 株式会社白橋
東京都中央区八丁堀4-4-1
©社会福祉法人 済生会

総裁 秋篠宮皇嗣殿下
会長 潮谷義子
理事長 炭谷 茂
本部 東京 支部 40都道府県
病院 81
診療所 19
介護医療院 1
介護老人保健施設 29
救護施設 1
児童福祉施設 25
老人福祉施設 122
障害者福祉施設 9
看護師養成施設 7
訪問看護ステーション 63
地域包括支援センター 31
地域生活定着支援センター 5
その他 10
合計 403 (数字は令和3年度)
さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の59島の診療活動に携わっている。
職員数は全国で約6万4000人。



なでしこ
ファーム



熊本、松山から「冬の愛」をお届けします!



熊本済生会ほほえみ「パン工房ふわり」
熊本県熊本市南区内田町 3560-1 Tel: 096-223-3428

松山ワークステーション「なでしこ」
愛媛県松山市東山町143番地 Tel: 089-916-6959



焼き菓子のネット通販店「なでしこファーム」

なでしこファームは、済生会の就労継続支援事業所で作ったお菓子を販売するネット通販店。
熊本・済生会ほほえみと愛媛・松山ワークステーションが店舗し、済生会のホームページ上で営業中です。
商品のクッキーやケーキは、障害者が街のお店に追いつき追い越せと、一生懸命つくりました。
どうぞ一度、その思いも一緒に召しあがってみてください。お歳暮にも最適です。 店主敬白



◆クッキー (左上から時計回りにマープル、ゴマ、プレーン、クルミ)



♥ギフトボックス(クッキーとパウンドケーキの詰め合わせ)



♣くまドレーズ (くまの形で、手軽に食べられる大きさのマドレーズ)



◆元祖クッキー (片栗粉を使ったサクサクとした歯ごたえが人気)

済生会のトップページからアクセス!!
<https://www.saiseikai.or.jp>



ホームページには、他にも魅力いっぱいの商品が。工房で、お店で活躍するスタッフの様子も。ぜひご覧ください。

